

2014

4

目次
CONTENTS

- | | | | |
|----|--------------------------------|----|--------------------------------|
| 2 | 特集 ありがとう戸多小学校 | 22 | 平成26年度那珂市まちづくり 出前講座をご利用ください |
| 8 | 平成26年度市長施政方針 | 24 | わがまちの環境を考える |
| 14 | 平成26年度那珂市予算 | 29 | 那珂市内放射線量の測定状況 |
| 18 | 議会 第1回定例会 | 31 | まちの話題 |
| 20 | 那珂市名誉市民を選定しました | 32 | Information |
| 21 | 上菅谷駅新合築駅舎竣工式典 那珂四中バスケットボール部 | 36 | ナカマロちゃん ほか |



この場所での思い出、ずっと忘れない(戸多小学校)



ありがとう

戸多小学校

（開校以来139年の長い歴史に幕）

那珂市立戸多小学校は、平成26年3月をもって閉校し、4月からは芳野小学校と統合し、139年の歴史に幕を閉じました。

明治7年に戸村小学校・下江戸小学校として開校して以来、下江戸尋常小学校、戸多尋常小学校、戸多国民学校、戸多小学校と校名を変えながら、地元根ざして、これまでに6954人の卒業生を輩出してきました。

自然が豊かな戸多小学校では、「緑の少年団・森林愛護隊」の結成や、茨城県から「愛鳥モデル校」の指定を受けるなど、特色ある活動にも取り組み、多くの表彰を受けてきました。

地域のかたがたに愛され、戸多地区のシンボルとして在り続けてきた戸多小学校の歴史を振り返ります。



◆(写真上) 旧戸多小学校正門（大正15年）
（写真下）現在の戸多小学校正門



◆平成25年度戸多地区市民運動会での集合写真



戸多小学校
第37代校長
川又 暢

明治7年の開校以来、戸多地区のかたがたはこの学校をこよなく愛し、教育の振興のためにもっとよくしようと辛苦を厭わず、支え続けてくださいました。そのお蔭で多くの逸材と人材を社会に輩出し、地域文化の拠点として大きな役割を果たしてきました。この学び舎を築いた卒業生は、六千有余名になります。多くの皆様にとつて、戸多小学校の閉校は大変残念であり、寂しいことでしょう。しかし、綿々と築き上げてきた今までの伝統や実績は決して永遠に消えることはありません。必ずや統合する芳野小学校においても生かされ、子どもたちが伸び伸びと成長することを確信しております。最後に、今日まで戸多小学校の発展にご尽力をいただきました地域のかたがた、保護者の皆様、卒業生の皆様、歴代校長ならびに旧職員の皆様、そして多くの関係者の皆様に改めて衷心より感謝申し上げます。今後はその思いを是非とも、新生芳野小学校に継承していただくとともに、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。戸多学校の幕を閉じさせていただきます。



那珂市教育委員会
教育長
秋山和衛
(昭和28年度卒)

日本が新しい時代にふさわしい近代教育への第一歩を踏み出して間もなく、明治7年に戸村小学校、下江戸小学校が開校しました。その後、幾度かの校名改称、改築を重ね、139年の長きにわたり地域とともに歩んできました。

学区の住民の皆様はもとより、在校生、これまで当校を巣立っていった数多くの卒業生の皆様にとつても、母校を閉校することは何事にも替えがたい寂しいことと推察するところであります。

平成26年度からは芳野小学校と統合になり、新しい歴史の幕が開きます。在校生の皆さんには戸多小学校の良き伝統を活かしつつ、新しい仲間と力を合わせて、将来の夢の実現のために精進するとともに、新たな校風を築いていってほしいと願っております。

最後になりましたが、永年にわたり本校発展のためにご尽力いただきました歴代のPTA会長はじめ役員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様のご苦勞に対し心から敬意と感謝を申し上げます。

戸多小学校 校歌

作詞…与田 準一
作曲…細谷 一郎

- 一、空はるばると山霞む
名も那珂町の戸多開けて
かげろうあそぶ土の香に
生い立ち学ぶわたしたち
戸多戸多みどりの戸多
- 二、風さやさやと松茂る
名も県民の森近く
さえざる鳥の羽ばたきに
楽しくはげむわたしたち
戸多戸多あかるい戸多
- 三、水きらきらとあゆのぼる
戸の渡し場は今むかし
明日のゆめはブロンズの
平和のほとが呼んでいる
戸多戸多希望の戸多

※本文および写真は、「那珂市立戸多小学校閉校記念誌」(那珂市立戸多小学校閉校記念事業実行委員会発行)から一部転載しました。



◆旧校旗の寄贈 (昭和15年)



◆旧戸多中学校 (現在の戸多小学校敷地)

3月23日

戸多小学校閉校記念式典

最後の卒業式から4日後の3月23日には、戸多小学校閉校記念式典を開催しました。
当日は、地域のかたを中心に約500人が参加しました。戸多小学校の卒業生のかたや、かつて戸多小学校で教鞭をとったというかたも大勢訪れ、多くのかたに愛された学校との別れを惜しまました。
式典では、在校生がみんなで戸多小学校へのお別れの言葉を述べ、参加したかた全員で校歌を歌いました。卒業生のかたは、久しぶりに歌う母校の校歌に感慨深げでした。
また、記念碑の除幕式も行い、戸多小学校の歴史が刻み込まれた記念碑が披露されました。
そして、第3部として、閉校記念事業実行委員会式典部会主催で行った惜別のつどいでは、茨城県警音楽隊の皆さんによる演奏もあり、戸多小学校の最後を飾るにふさわしい、美しい音色を響かせてくれました。



川又校長から海野市長へ、校旗の返納



戸多小学校の児童がお別れの言葉として、母校への思いを語りました



茨城県警音楽隊の演奏が花を添えました



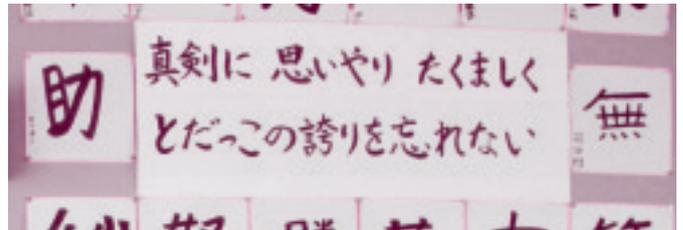
在校生から卒業生まで、約500人で母校の校歌を歌いあげました

3月19日

第67回 戸多小学校卒業式



3月19日、第67回戸多小学校卒業式が行われました。戸多小学校最後の卒業生は14人。4月から入学する那珂三中の制服を身にまとい、堂々とした振る舞いで、川又校長から卒業証書を受け取りました。式の後には教室に戻り、安全に登下校できるように毎朝見守ってくれた戸駐在所の臼井英雄さんに感謝状を贈りました。学級活動の時間は、担任の先生から暖かい言葉をかけられ、6年間の戸多小学校での生活を噛みしめている様子でした。最後はたくさん在校生や教職員に見送られながら学校を後にし、慣れ親しんだ学び舎からはばたいていきましました。



通算6954人目、戸多小学校最後の卒業生となった三田さくらさん



在校生から卒業生へ花のプレゼント



いつも登下校を見守ってくれた戸駐在所の臼井英雄さんへ、卒業生から感謝状を贈呈



思い出のたくさん詰まった教室で受ける最後の授業です



| 昭和 | | | | 大正 | | 明治 | | | | | | | | |
|--|--|-----------|------------------|----------------------|-----------------|------------|-----------|-------------------|--|---|----------------------------------|---|--|--|
| 56年1月14日 | 50年10月15日 | 49年10月25日 | 46年12月15日 | 43年5月9日 | 30年3月31日 | 22年4月1日 | 16年4月 | 4年4月6日 | 32年2月11日 | 26年3月15日 | 24年4月27日 | 22年4月 | 19年4月 | 7年2月 |
| 森林愛護隊員・指導者県知事から、昭和55年度「ばら賞」受賞 | 4・5年生68名で那珂町森林愛護隊を結成し、茨城県民の森、鳥獣センターおよび周辺の森林愛護活動を開始 | 新校舎建築工事了 | 野鳥保護により県知事より褒状拝受 | 町村合併に伴い、那珂町立戸多小学校と改称 | 校名を戸多村立戸多小学校と改称 | 増築校舎落成 開校式 | 戸多国民学校と改称 | 校訓を「自律・勤勉・協和」に定める | 修業年限4年の高等科の授業を開始することを許可され、尋常高等小学校と改め、同年4月1日から高等科の授業を開始 | 校舎を田崎に新築し、戸の分校を廃し、開校式を行う | 下江戸尋常小学校を戸多尋常小学校と改称し、戸、小場に仮教場を置く | 学制改正により、下江戸村立小学校を下江戸尋常小学校と改称し、戸、小場に仮教場を置く | 戸村および下江戸村に仮校舎を設け、それぞれ戸村立小学校、下江戸村立小学校と称する | 戸村および下江戸村に仮校舎を設け、それぞれ戸村立小学校、下江戸村立小学校と称する |
|  |  | | | | | | | | |  | | | | |
| ▲「触れ合い給食」の様子 | ▲森林愛護活動 | | | | | | | | | ▲旧校舎全景（昭和30年） | | | | |

| 大正 | | | | 明治 | | | | | | | | | | |
|----------------------|---------------|---|---------|---|------------|--|-----------------------|--------|--|--|---|-----------------------------------|---|---------------|
| 13年 | 8年 | 6年 | 8年 | 6年 | 4年 | 37年 | 28年 | 27年 | 22年 | 17年 | 15年 | 11年 | 6年 | 4年 |
| 那珂川が氾濫し、村内でも大きな被害を被る | 戸多郵便局が田崎に開局する | 那珂川の下江戸地先に千代橋が架橋される。長年にわたり利用された渡船は廃止される | 村に電燈が灯る | 田崎に庁舎を新築して移転する。その後、昭和30年の町村合併後も町役場の支所として同37年まで使用される | 第一次世界大戦に参戦 | 日露戦争開戦 | 菅谷警察署戸多巡査駐在所を大字戸に開設する | 日清戦争開戦 | 市制・町村制の施行に伴い、下江戸、大内、田崎、戸の4か村が合併し、戸多村が誕生する。村役場を下江戸に置く | 連合村の再編成が行われ、戸村、田崎村、大内村、下江戸村、小場村が連合し、戸長役場を下江戸村に置く | 村の再編が行われ、戸村、田崎村、大内村が連合し、戸長役場を田崎村に置く。また、下江戸村は小場村、小野村と連合し、戸長役場を小場村に置く | 大・小区制が廃止され、郡制度となり、那珂郡役所が菅谷村に設置される | 地方行政区域の見直しのため、全国一律に区制が導入され、戸多地区は県内第10大区の小1区（戸村）および小2区（田崎村、大内村、下江戸村）に編入される | 廃藩置県により茨城県が誕生 |
| | | | | | |  | | | | | | | | |
| | | | | | | ▲旧戸多村役場 | | | | | | | | |

平成

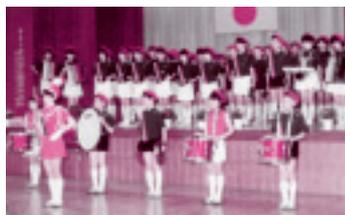
| | |
|-----------|--|
| 57年10月14日 | 学校給食運営優良校として文部大臣から表彰状拝受 |
| 59年5月13日 | 野生鳥類の保護に力を尽くし、日本鳥類保護連盟会長から褒状拝受 |
| 62年8月17日 | プール建設工事完了 |
| 元年4月26日 | 戸多小学校創立百周年記念式を挙行。記念碑の建立・記念誌を発行 |
| 3年4月1日 | 県農林水産部・県教育委員会より愛鳥モデル校の指定を受ける |
| 5年10月27日 | 大規模改修工事（第二期工事）完了。オープンスペース、視聴覚室、図書室、多目的ルームなど改装・新設 |
| 13年4月1日 | 校訓を「ふるさとにまなぶ、たのしくはげむ、明日のゆめをいだく」に改訂 |
| 16年4月29日 | 全国みどりの感謝祭県代表で参加 |
| 7月28日 | 緑の少年団全国大会参加 |
| 10月23日 | 全国緑の少年団活動発表大会優良賞受賞 |
| 17年1月21日 | 町合併に伴い、那珂市立戸多小学校と改称 |
| 19年11月3日 | 全国緑の少年団育成成功労賞受賞 |
| 21年10月24日 | 国土緑化運動「緑の少年団活動コンクール」において奨励賞受賞 |
| 22年5月16日 | いばらき緑の文化賞県知事賞受賞 |
| 22年5月9日 | 日本鳥類保護連盟褒賞受賞 |
| 24年5月9日 | 環境保全茨城県民会議褒賞受賞 |
| 26年3月23日 | 戸多小学校閉校式 |
| 3月31日 | 芳野小学校との統合により戸多小学校閉校 |



▲現在の戸多小学校校舎



▲創立百周年記念式



平成

昭和

| | |
|-----|---|
| 23年 | 3月11日に東日本大震災発生。那珂市は震度6強を観測し、甚大な被害を受ける |
| 22年 | 戸多幼稚園閉園（芳野幼稚園と併合となる） |
| 17年 | 瓜連町と合併し、那珂市となる。市の人口5万6726人、世帯数は1万9452戸となる |
| 12年 | 那珂川に、100年に一度の出水を想定した堤防の改修工事が竣工する。かつて戸板の渡しが運航していた戸の川岸前と対岸を結ぶ地点に架橋が進められており、平成26年度に開通予定である |
| 6年 | 那珂総合公園が竣工する |
| 61年 | 台風10号により那珂川が氾濫し、千代橋が流失する |
| 56年 | 戸（立石）に茨城県植物園がオープンする |
| 47年 | 戸多幼稚園開園 |
| 44年 | 明治100年を記念して造られた茨城県民の森、鳥獣センターが開所する |
| 39年 | 東京オリンピックが開幕する。高度経済成長期に入り、家電製品、マイカーの普及が始まる |
| 38年 | ごぼうと長芋の生産と出荷が飛躍的に増大し、特産品として全国的に知られるようになる |
| 35年 | 有線放送が開始される |
| 30年 | 那珂川に国の直轄事業として堤防の築堤が始まる |
| 29年 | 神崎村、額田村、菅谷町、五台村、戸多村、芳野村、木崎村の1町6か村が合併し、那珂町が誕生する |
| 22年 | カスリーン台風による豪雨で那珂川が氾濫し、村内でも大きな被害を被る |
| 16年 | 大東亜（太平洋）戦争開戦 |
| 14年 | 電話が開通する |



▲改修された那珂川堤防と河川敷

平成26年度 市長施政方針

3月3日から、平成26年第1回那珂市議会定例会が開催され、海野市長が平成26年度の施政方針を表明しました。以下、施政方針の内容(予算の概要については別掲)についてお知らせします。

平成26年度那珂市一般会計をはじめ、各特別会計および水道事業会計の当初予算のご審議をお願いするに当たり、市政運営の基本方針と新年度における主要な施策の概要を申し上げ、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年は、私にとりまして、市長として1期4年の最終年という節目の年であります。平成23年2月に市民の皆様から本市のかじ取りを託されて以来、昼夜を問わず、市民の安全・安心な生活を守ることを第一に考え、駆け抜けてきた3年間でございました。この間、私が提唱しております『一人ひとりが輝くまち』『未来に夢がもてるまち』『那珂市』の実現を目指し、職員とともに一丸となって、各種施策の推進に取り組んでまいりましたが、これもひとえに、市民の皆様ならびに市民の代表

である議員各位のご理解とご協力のおかげであると、改めて感慨を深くする次第であります。

現在の我が国の状況を見ると、政府による一連の経済政策により、株価の上昇や円安が誘導され、企業の業績や人々の消費動向が上向くなど、景気の回復に期待を抱かせる要素が出てきたところであります。しかしながら、労働賃金への反映の速度はいまだ鈍く、4月の消費税増税も控えており、本格的な景気回復の軌道を描くには、依然として厳しい状況が続いております。また、少子高齢化や地球温暖化などの環境問題、あるいは原子力発電所の再稼働の問題をはじめエネルギー政策をめぐる議論など、国はもとより我々、地方自治体にとりましても、早急に取り組みなければならぬ課題が山積しております。

一方、市においては、平成25年度は、第1次那珂市総合計画後期基本



計画の初年度であり、新たなまちづくりの指針として掲げた各種施策の推進に着手したところであります。また、平成26年度は、市制施行10周年の記念すべき年でもあります。これまでの歩みを総括するとともに、今一度、郷土が生んだ先人たちの偉業に学び、改めて市の将来像を見据えてまいります。本市のまちづくりの基本理念である「協働のまちづくり」を根底に据えるとともに、東日本大震災の経験を踏まえながら、本市の未来を力強く、着実に築き上げていく決意であります。

そのためにも、私と職員がともに一丸となり、迅速に課題解決に取り組み、より高品質の行政サービスを提供することが、私に与えられた使命であると考えております。私は、市民の皆様への負託にこたえるためにも、愛されるふるさと那珂市をつくるべく、いかなる困難な課題にも挑戦してまいる所存であります。

以上、市政運営の基本的な考え方について申し上げます。次に、平成26年度当初予算の概要について申し上げます。

平成26年度の那珂市予算は、歳入においては、収入の根幹となる市税が、国の経済対策などによる景気回復の傾向から増額が見込まれる一方、国の地方財政対策により、普通地方交付税および財源対策の地方債

の減額が見込まれることから、財政調整基金などからの繰入金により必要な財源の確保を図りました。

また、歳出においては、市民から特に要望の高い市道の改良・補修や、市街地の整備をはじめとする社会基盤整備のほか、平成25年度に引き続き、東日本大震災からの復興に向け必要な事業への重点的な予算配分を行っております。しかしながら、その一方で、増加の著しい各種特別会計への繰出金や、高水準で推移する扶助費や公債費に加え、平成27年度からの普通地方交付税における合併算定替の縮減など、将来的にも厳しい財政状況が予想されます。それらを見据えた中で、歳入に見合った歳出の原則に立ち、事務事業の見直しを進め、財源の効果的・効率的な配分に努めた予算編成を行いました。

その結果、一般会計については前年度比1・2%減の181億5000万円、特別会計については、国民健康保険特別会計(事業勘定)が前年度比2・8%増の57億3400万円、下水道事業特別会計は前年度比6・2%減の23億3000万円、公園墓地事業特別会計が前年度比7・7%減の1200万円、農業集落排水整備事業特別会計が前年度比13・8%減の8億1100万円、介護保険特別会計(保険事業勘定)が前年度比4・6%増の43億1000万円、上菅谷駅前地区土地区画整理事業特

別会計が前年度比13・5%増の1億8500万円、後期高齢者医療特別会計が前年度比9・1%増の5億1400万円となりました。

水道事業会計については、収益的収入が前年度比6・3%増の11億8774万円、収益的支出が前年度比3・5%増の11億3664万円、資本的収入が前年度比26・9%増の1億1565万9千円、資本的支出が前年度比27・3%減の4億2193万5千円となりました。

次に、重点的に取り組む主要施策の概要につきまして、第1次那珂市総合計画に掲げる施策体系に沿って申し上げます。

1 市民との協働のまちづくり

協働のまちづくりの推進につきましては、市民との協働体制の確立に向け、引き続き地区まちづくり委員会、自治会および市民活動団体の活動を支援するとともに、市民一人ひとりがまちづくりの主体であることと認識し、進んでまちづくりに参加できるようまちづくり養成講座や協働のまちづくり推進フォーラムなどを通して、学習機会の提供や啓発を行ってまいります。

広報事業につきましては、市民の皆様が親しまれる広報紙を目指し、

今後も市の話題や情報などについて、読みやすく分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。また、ホームページに加え、新たな情報発信ツールとして、フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)などを活用し、市の魅力度向上を図るため積極的に情報を発信してまいります。

広聴事業につきましては、開かれた市政の実現を目指し、市民相談室の窓口をはじめ、市民ボックスや提案メールなどにより、広く市民の意見・要望の聴取に努めてまいります。さらに、市の計画などの立案に当たりましては、引き続きパブリックコメントを実施するほか、「市長と話そうふれあい座談会」を継続して実施し、市民の皆様との対話や意見交換を通して市民のニーズを把握し、市政運営に反映してまいります。

男女共同参画の推進につきましては、那珂市男女共同参画プラン後期実施計画に基づき、女性活動団体などと連携を図りながら、さまざまな取り組みを総合的かつ計画的に推進してまいります。

人権尊重の啓発につきましては、一人ひとりの人権が尊重される社会をつくるため、人権問題についての啓発・教育の推進に取り組んでまい

ります。本年度は、政府拉致問題対策本部および県、市の共催による「拉致問題を考える国民の集い」を開催するほか、平和を守る意識を醸成するためパネル展を開催するなど、広く市民に対して人権問題や平和維持について学び、考える機会を提供します。



◆原爆パネル展(市立図書館)

2 安全で快適な住みよいまちづくり

防災対策につきましては、自主防災組織が結成されていない自治会に対して、その必要性を十分説明し、自主防災組織の結成促進を図ります。また、那珂市地域防災計画に基づき災害に強いまちづくりを推進するため、食糧や飲料水など非常用食糧の備蓄を進めるとともに、情報伝達手段の適切な管理を図るなど、災害時における市民の安全確保に努めてまいります。



◆自主防災組織による吹き出し訓練

原子力の防災対策につきましては、那珂市地域防災計画(原子力災害対策編)に基づき、防災体制の整備・充実に努めるとともに、市民に対して適切な情報提供を行ってまいります。また、東海第二原子力発電所の再稼働問題につきましては、国、県および近隣市町村の動向を注視しながら、議会および市民の意見を尊重し判断してまいります。

木造住宅耐震化促進事業につきましては、那珂市耐震改修促進計画に基づき、旧耐震基準で建築された住宅(昭和56年5月31日以前着工の木造住宅)に対して、補強設計および耐震改修工事に要する費用の補助を行い、耐震化の促進を図ってまいります。

消防行政につきましては、東消防署に備蓄倉庫を設置するほか、西消防署において電話設備の改修工事を行い、消防防災拠点である消防施設の充実・強化を図ります。また、住宅用火災警報器の設置促進、査察指導においては、特定防火対象物における消防用設備などの設置・維持管理などのハード面の整備を進めるほか、消防訓練の実施や避難経路の維持管理など、ソフト面に対する指導の強化および防火管理者の育成指導を行います。

救急業務につきましては、傷病者

に対してより高度な救急救命処置の実施を可能にするため、救急救命士および気管挿管認定救急救命士を各1名養成し、救命率の向上を図るほか、救命講習会などの開催を推進し、応急手当の普及啓発に努めます。また、平成28年6月からの消防救急無線のデジタル化に併せ、広域化する消防救急業務に適切かつ迅速に対応するため、消防指令業務の共同運用と消防救急無線の共同整備を県内21消防本部で進めてまいります。

消防団につきましては、消防ポンプ自動車1台の更新整備を行うほか、災害時における情報収集および伝達の迅速化や、適切な対応を図るため消防団用デジタル無線を整備し、災害対応に万全を期します。

防犯対策につきましては、防犯灯設置の補助を行うことにより、地域の安全確保に努めてまいります。また、犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取り組みとして、警察や防犯協会などと連携した防犯パトロールの充実を図り、地域と一体となった防犯活動を進めてまいります。

消費者行政につきましては、消費者を取り巻く環境がますます多様化、専門化していることから、消費者が安心して生活が送れるよう「消

費生活センター」における相談業務を強化し、消費者トラブルに対応してまいります。また、消費者行政の取り組みを推進するため、今後も引き続き出前講座などによる啓発活動を実施し、消費者被害の未然防止を図ってまいります。

交通安全対策につきましては、警察など関係機関との協力により、季節ごとに交通事故防止運動を展開し、高齢者、子どもの事故や自転車事故などの防止に努めてまいります。また、飲酒運転や夜間の交通事故防止などの広報啓発活動を実施し、交通マナーの向上を図るとともに、高齢者や児童・生徒に重点を置いて交通安全教育を実施してまいります。

環境行政につきましては、第2次那珂市環境基本計画に基づき自然と調和した豊かな環境の確保に向け、引き続き省エネルギー・再資源化の推進を図るとともに、環境市民会議を開催するなど市民との協働による環境づくりに努めてまいります。

市道整備につきましては、生活道路としての利便性の向上と安全な交通環境の確保を図るため、緊急性と必要性を考慮しながら地域の要望を総合的に勘案し、継続的に道路の新設や改良、維持補修を実施し、舗装率の向上に努めてまいります。ま

た、生活に密着した市道などにつきましては、住環境の改善と向上を図るとともに地域コミュニティ活動を推進するため、報償金制度を活用し市民との協働により除草などの管理作業を進めてまいります。

排水路整備事業につきましては、両宮排水路の全体整備計画区間の3分の2が完成しましたが、引き続き未整備となっている中間部につきましても年次計画に基づいて整備を実施し、大雨などによる冠水被害を防止するため早期完成を目指し推進してまいります。なお、上流部の遊歩道整備につきましても、排水路の完成を受け既設の遊歩道と一体となった利用ができるよう進めてまいります。

都市計画道路菅谷・市毛線(第3期、延長11400m)および上宿・大木内線(延長1440m)につきましても、引き続き計画的に整備を進めてまいります。

公共交通の推進につきましては、日常生活の移動手段に不便をきたしている地域住民の交通手段を確保するため、県・沿線市・事業者などと連携を図り、水郡線や路線バスの利用促進に向けた施策を推進してまいります。また、市が運行する「ひまわりバス」および「ひまわりタクシー」につきましては、利用者の

ニーズを把握しながら利便性の向上に努めてまいります。

地籍調査事業につきましては、下江戸(Ⅳ)地区および北酒出(Ⅱ)地区の成果の閲覧と認証の作業を行うとともに、南酒出(Ⅰ)地区1・01kmの長狭狹・一筆地の調査を実施してまいります。

市街地の整備につきましては、菅谷地区まちづくり事業において社会资本整備総合交付金を活用し、平成24年度から道路の整備を実施しています。下菅谷地区まちづくり事業においても同交付金により、都市再生整備計画を変更し、第1期分として継続的に都市計画道路下菅谷停車場線や街区道路などの整備を進めてまいります。

上菅谷駅前地区まちづくり事業につきましては、駅前の公衆トイレ改修工事を実施するとともに、上菅谷



◆新築された上菅谷駅舎と旧駅舎

駅前地区土地区画整理事業についても事業完了に向けて推進してまいります。

上水道事業につきましては、安全かつ安定した水の供給を図るため、既存施設の適正な維持管理に努めてまいります。また、下水道の復旧整備に伴う配水管移設工事を行うとともに、配水管の整備および老朽管更新を引き続き実施してまいります。さらに、木崎浄水場更新事業につきましても、次年度施工予定施設の実設計を行ってまいります。

公共下水道事業につきましては、下菅谷および寄居地区の2地区は平成26年度事業完了を目指し進めてまいります。第1次整備優先地区のⅠ期地区で進めている菅谷東、額田、後台および門部地区は引き続き汚水管布設工事を進め、快適で衛生的な生活環境の整備に努めてまいります。また、Ⅱ期地区の菅谷東、額田、後台および戸多地区につきましても平成25年度中に事業認可を取得し、調査設計に着手してまいります。

農業集落排水整備事業につきましては、鴻巣地区Ⅱ期地区の平成27年度事業完了を目指し、農村環境の早期改善を図るため管路布設工事を進めてまいります。また、酒出地区につきましても、調査設計委託および

処理場用地の取得などを進めてまいります。

合併処理浄化槽の設置につきましては、公共下水道事業および農業集落排水整備事業の認可区域以外の区域において、引き続き補助を行ってまいります。

なお、水道料金および下水道使用料につきましては、コンビニ収納を導入し、納付機会の拡充による市民サービスの向上を図ります。

3 健やかで生きがいを もって暮らせるまちづくり

地域福祉につきましては、那珂市地域福祉計画に基づき、市社会福祉協議会や民生委員・児童委員などの関係機関と連携を図り、ひとり暮らし高齢者やひとり親家庭など、要援護者の見守り体制を強化し、お互いを認め支え合う地域社会の構築を目指してまいります。

生活保護につきましては、生活保護制度に基づく保護費の適正化を進めるとともに、受給者の自立を促すため就労支援などに努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、那珂市高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者の自立支援と尊厳の保持を基本

に、健康づくりや介護予防事業の効果的な実施、介護保険事業の円滑な運営など、高齢者の保健・福祉・介護施策について、総合的かつ計画的に取り組んでまいります。市内3圏域にある地域包括支援センターや市社会福祉協議会などの関係機関と緊密に連携を図り、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援してまいります。

障がい者福祉につきましては、那珂市障がい者プランに基づき、障がい者が地域で安心して暮らしていただけるよう、支援を必要とするかたに対して適切な障がい福祉サービスなどの提供に努めてまいります。

母子保健につきましては、乳児家庭訪問や、妊婦および乳幼児の健康相談・健康診断の実施により育児不安の解消を進めるほか、定期予防接種の勧奨や、任意予防接種費の助成による感染症のまん延と重篤化の防止などにより、安心して出産・子育てできる体制づくりを進めてまいります。また、不妊治療費についても、県補助金の上乗せ助成を引き続き継続してまいります。

子育て支援につきましては、平成25年度に実施しましたニーズ調査を

もとに、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする那珂市子ども・子育て支援計画を策定してまいります。額田保育所の民営化につきましても、市、保護者および移管先法人による三者協議会を設置し、円滑に引き継ぎを行ってまいります。

家庭児童相談室では、引き続き児童虐待や、母子家庭の自立などに関する相談の充実を図ってまいります。また、在宅の乳幼児に対する子育て支援のため、子育て支援センター「つばみ」の機能を充実させるとともに、ファミリーサポートセンターの利用や地域との交流など、地域で子育てを支援する環境づくりを進めてまいります。

こども発達相談センターにつきましては、平成25年度に開設し多くの保護者のかたにご利用いただいておりますが、今後とも相談支援体制を整え、利用を希望されるかたのニーズを十分に把握し、総合的な相談窓口として運営してまいります。

成人保健につきましては、病気を予防し、疾病の早期発見と早期治療のため、定期健診・がん検診などを進めてまいります。また、保健指導を実施し、生活習慣の改善に取り組むなど、健康づくりを進めてまいります。

4 豊かな心と文化を育む 教育のまちづくり

成27年度からの小中一貫教育の本格的実施に向けて取り組んでまいります。

学校教育につきましては、個性と創造性を育む学校教育の充実を図ることを目標に、児童生徒の基礎的・基本的な知識と技能の修得に努めるとともに、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図ってまいります。そのため、引き続き小・中学校へT・T非常勤講師やALT、障がい児学習指導員などを配置するとともに、中学校2年生および3年生については、市独自に35人学級を実施し、きめ細かな指導をより充実させてまいります。また、教職員を対象とした教科・領域研修や特別支援教育研修、生徒指導研修などを実施し、教員の意識改革や指導力の向上に努めてまいります。

さらに、学校生活への悩みを持つ児童生徒および保護者、教員の多様な教育相談に応じるため、教育支援センター機能を充実するとともに、心の教室相談員やスクールカウンセラーなどによる指導・支援を行ってまいります。

また、児童生徒の教育環境を充実させるため、小・中学校の適正規模化につきましては、那珂市小中学校適正規模化基本計画に基づき、推進学区の地域の皆様と協議しながら早期の実現に努めます。また、さらなる教育効果の向上を目指して、平

スポーツの推進につきましては、那珂市スポーツ振興基本計画に基づき、生涯にわたるスポーツの推進・振興を図るとともに、市民による自主的な活動の場である総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」を支援してまいります。また、那珂総合公園を活用して、水泳教室をはじめとする各種スポーツ教室の充実を図り、市民の健康の維持・増進に努めてまいります。

青少年健全育成につきましては、家庭教育力の向上に努めるとともに、家庭・学校・地域の連携をより一層深め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。また、ふるさと教室における体験事業の充実により、小学生のふるさとを愛する心と社会性の涵養を図ってまいります。

歴史遺産・伝統文化につきましては、歴史民俗資料館を拠点として季節展や企画展を充実するとともに、市史編さん事業を進めてまいります。また、市民との協働により、額田城跡の保存管理をはじめ各種の歴史遺産の保存活動を進めてまいります。

国際交流につきましては、市国際交流協会と連携し、異なる文化や生活習慣を互いに理解し合える多文化共生の実現に努めるとともに、国際

親善姉妹都市であるアメリカ合衆国オークリッジ市との交流を通して、国際的感覚を持ち、グローバル社会に対応できる人材を育成してまいります。

5 活力があり賑わいの あるまちづくり

市民交流事業につきましては、友好都市である秋田県横手市との交流を通して、異なる風土や文化、生活習慣などに触れ、市民および市民団体の友好関係が継続・発展できるように交流活動を支援してまいります。

農業農村整備事業につきましては、県営事業を有ヶ池地区、芳野地区において引き続き実施してまいります。また、県単ため池整備事業やかんがい排水事業により施設の更新を進めるとともに、大規模化農業に対応できるよう農地を集約するため、ほ場の再整備に取り組んでまいります。

農業振興につきましては、米の消費拡大や6次産業化の推進および農産物のブランド化に取り組んでまいります。また、農業経営の改善を図るため、営農指導者による営農相談や営農指導を行い、新たな作物の導入およびほしいも生産・加工の普及促進を図るとともに認定農業者など

の担い手の確保・育成と中小農家に
対する支援を実施してまいります。
さらに、新規就農者を対象とした栽
培講習会などをJAひたちなかや農
業改良普及センターなどの関係機関
と連携して開催してまいります。

遊休農地の対策につきましては、
遊休農地解消対策事業、耕作放棄地
再生利用事業や農地利用集積事業を
活用し、農業委員会などの関係機関
と協力して耕作放棄地の解消に向け
取り組んでまいります。

商工業の振興につきましては、平
成25年度に策定しました那珂市商工
業振興計画に基づき、商工業の活性
化に向けて取り組むとともに、自
治・振興金融制度による事業資金の
融資支援および雇用対策として就職
活動の支援を行ってまいります。

企業誘致につきましては、製造業
に限らず多様な業種について誘致の
可能性を探るとともに、県や関係機
関などとの連携や情報収集に努めて
まいります。また、引き続き固定資
産税の優遇や緑地面積率の緩和の措
置により積極的な誘致活動に取り組
むとともに、既存企業の支援を行っ
てまいります。

観光振興につきましては、那珂市
観光振興計画に基づき、市の歴史、

文化、自然、人などの地域資源を生
かし、観光客の誘致を図ります。ま
た、観光と商業・農業などの地域産
業が連携する仕組みをつくることに
より、地域経済の活性化を図るほ
か、市観光
協会はじめ
関係機関と
連携し、市
の魅力や情
報を積極的
に発信して
市のイメージ
アップに
努めてまい
ります。



◆さくら名所100選の静峰ふるさと公園

6 行財政運営の効率化に よる自立したまちづくり

行財政改革につきましては、新た
に策定しました第3次那珂市行財政
改革大綱に基づき、計画的かつ積極
的に取り組んでまいります。

基幹業務システムにつきましては
は、共同で自治体クラウドに移行す
ることで経費削減を図るとともに、
堅牢なデータセンターを利用するこ
とで災害時の業務継続を確保するな
ど、行政サービスの一層の向上と効
率的な運営に努めてまいります。ま
た、社会保障・税番号制度につきま
しては、庁内の連携体制の強化を図

り、システムの改修など円滑な導入
を進めてまいります。

職員研修につきましては、那珂市
人材育成基本方針に基づき、それぞ
れの役職階層において求められる知
識や能力を養成するとともに、政策
形成能力や行政経営能力、危機管理
能力などの専門的能力の育成を行
い、職員一人ひとりの意識改革と資
質の向上に努めてまいります。

人事評価制度につきましては、管
理職を対象とした試行を3年間行っ
てまいりましたが、今後はこれを一
般職に拡大するための研修を実施し
ながら、さらなる制度構築を進めて
まいります。

職員数につきましては、今後の定
年退職者の再任用の状況などを勘案
しながら、将来的に各年齢層の偏り
が生じないよう、新規採用者の計画
的採用を進め、適正な定員管理を
行ってまいります。

市税などの納付につきましては、
平成24年度から導入しましたコンピ
二収納において、順調に利用件数が
増えているところであり、引き続き
納税機会の拡充により、市民サービ
スと収納率の向上を図ってまいりま
す。

窓口業務の日曜開庁につきましては
は、市民生活の利便性の確保と市民
顧客主義の観点に基づき、平成23年
9月から実施しております。2年半
が経過し、市民にも浸透しつつある
中、今後もさらなる利便性の向上に
向け、検討・改善を加えながら継続
してまいります。

事務権限の移譲につきましては、
今後も国・県から一層の移譲が進め
られることが予想され、これらに対
応するための組織体制を整備し、地
域主権の趣旨を踏まえて自立したま
ちづくりを推進してまいります。

以上、平成26年度の市政運営に当
たつての基本的な考え方と主要施策
の概要について申し上げます。地
方自治体を取り巻く環境は、依然と
して厳しい状況にあります。那珂
市の発展をさらに確かなものとし、
輝ける未来を創造するため、先に述
べた各種施策を一つひとつ確実に推
進しながら、市民生活において真の
豊かさが実感できるよう全力を挙げ
て取り組んでまいります。
ここに、議員各位をはじめ市民の
皆様のより一層のご理解とご協力を
重ねてお願い申し上げます。

平成26年3月3日

那珂市長 海野 徹

平成26年度 那珂市予算

問い合わせ

財政課財政グループ
☎298-1111
(内線522)

【表1】平成26年度会計別予算額 (単位：千円)

| 会計名 | 26年度 予算額 | 25年度 予算額 | 増減率 |
|-----------------|-------------|-------------|--------|
| 一般会計 | 18,150,000 | 18,370,000 | △1.2% |
| 特別会計 | 13,896,000 | 13,769,000 | 0.9% |
| 国民健康保険(事業勘定) | 5,734,000 | 5,577,000 | 2.8% |
| 下水道事業 | 2,330,000 | 2,484,000 | △6.2% |
| 公園墓地事業 | 12,000 | 13,000 | △7.7% |
| 農業集落排水整備事業 | 811,000 | 941,000 | △13.8% |
| 介護保険(保険事業勘定) | 4,310,000 | 4,120,000 | 4.6% |
| 上菅谷駅前地区土地区画整理事業 | 185,000 | 163,000 | 13.5% |
| 後期高齢者医療 | 514,000 | 471,000 | 9.1% |
| 合計 | 32,046,000 | 32,139,000 | △0.3% |

平成26年度的那珂市予算は、歳入では収入の根幹となる市税については国の経済対策などによる景気回復の傾向から増収、国の地方財政対策により地方交付税については減額、また財源対策や普通建設事業債に係る地方債についても減額が見込まれます。歳出では高水準で推移する扶助費や公債費などにより依然として厳しい状況が続く中、歳入に見合った歳出の原則に立ちつつも、要望の高い市道の改良・補修に加え、市街化区域の整備などの社会基盤整備や昨年度に引き続き東日本大震災からの復興に向け必要な事業を中心に、財源の重点的かつ効率的な配分に努めた予算編成を行いました。

その結果、一般会計については前年度比1.2%減の181億5,000万円、特別会計については前年度比0.9%増の138億9,600万円となりました。

<一般会計>

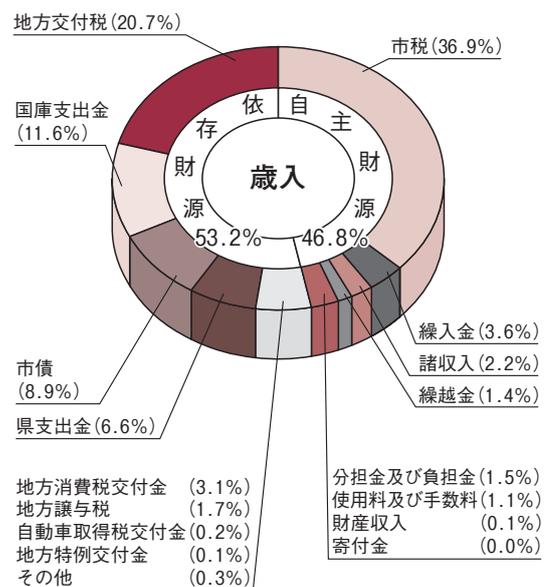
歳入 一般会計の歳入のうち最も大きな割合を占める市税は、東日本大震災の影響による雑損控除の減に伴う個人市民税の増や、新築家屋の増などによる固定資産税の増に加え、景気回復に伴う法人市民税の増により増収が見込まれることから、前年度に比べ4.0%の増収、地方交付税については国の地方財政計画を考慮するとともに、災害復旧事業に係る震災復興特別交付税交付見込額の減額により、前年度に比べ1.9%の減額を見込みました。

これらの結果、市が自らの手で確保できる自主財源は84億9,846万9千円で、歳入全体に占める割合は46.8%となりました。これに対し、国や県から決められた額を交付されたり、割り当てられたりする依存財源は96億5,153万1千円で、歳入全体の53.2%となりました。(表2、図1参照)

【表2】平成26年度一般会計歳入予算 (単位：千円)

| 区分 | 26年度 予算額 | 25年度 予算額 | 増減率 |
|-----------|-------------|-------------|--------|
| 自主財源 | 8,498,469 | 8,305,419 | 2.3% |
| 市税 | 6,704,827 | 6,445,054 | 4.0% |
| 分担金及び負担金 | 276,518 | 267,625 | 3.3% |
| 使用料及び手数料 | 199,614 | 196,896 | 1.4% |
| 財産収入 | 11,961 | 11,192 | 6.9% |
| 寄付金 | 4 | 4 | 0.0% |
| 繰入金 | 656,553 | 748,484 | △12.3% |
| 繰越金 | 250,000 | 250,000 | 0.0% |
| 諸収入 | 398,992 | 386,164 | 3.3% |
| 依存財源 | 9,651,531 | 10,064,581 | △4.1% |
| 地方譲与税 | 308,000 | 290,500 | 6.0% |
| 地方消費税交付金 | 568,853 | 453,000 | 25.6% |
| 自動車取得税交付金 | 31,000 | 68,000 | △54.4% |
| 地方特例交付金 | 28,300 | 29,000 | △2.4% |
| 地方交付税 | 3,751,098 | 3,822,834 | △1.9% |
| 国庫支出金 | 2,107,966 | 2,097,215 | 0.5% |
| 県支出金 | 1,195,139 | 1,291,543 | △7.5% |
| 市債 | 1,611,160 | 1,976,091 | △18.5% |
| その他 ※ | 50,015 | 36,398 | 37.4% |
| 合計 | 18,150,000 | 18,370,000 | △1.2% |

【図1】平成26年度一般会計歳入予算



※利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金

市税 67億482万7千円 (4.0%増)

市の歳入の根幹をなすのもので、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税があります。

市税は平成25年度に続き、増収となる見込みです。市民税は東日本大震災の影響による雑損控除を受ける納税義務者の減少や景気回復に伴う法人市民税の増が見込まれることから前年度比5.1%増の28億9,819万3千円、固定資産税は新築家屋の増や景気回復に伴い企業の保有資産に係る償却資産の増が見込まれることから、前年度比4.0%増の29億6,443万3千円などを見込みました。

地方交付税 37億5,109万8千円 (1.9%減)

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合を財源とし、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国から地方公共団体に交付されるもので、普通交付税、特別交付税(震災復興特別交付税を含む)があります。

普通交付税は地方財政計画の増減率などを考慮して、前年度に比べ1.2%減の33億4,000万円、特別交付税は過去の収入実績などを考慮して、前年度同額の2億円を見込みました。また、震災復興特別交付税は、東日本大震災からの復旧・復興事業の地方負担分について、通常の特別交付税とは別枠で交付されるもので、一般会計および特別会計で計上した災害復旧事業費から算出し2億1,109万8千円を見込みました。

地方消費税交付金 5億6,885万3千円 (25.6%増)

地方消費税交付金は、消費税の国分と併せて地方分を国が課税し、地方分の2分の1が都道府県に、残り2分の1が人口と事業所従事者の割合で市町村に按分して交付されるものです。

平成26年4月1日から、地方分の税率がこれまでの1%から1.7%に引き上げとなることに伴い、前年度比25.6%増の5億6,885万3千円を見込みました。

国庫支出金 21億796万6千円 (0.5%増)

国と地方公共団体の経費区分に基づき、国から地方公共団体に交付されるもので、負担金、委託金、特定の施設の奨励または財政援助のための補助金があります。

民生費国庫負担金では、障害者福祉サービス給付事業負担金に4億5千円、児童手当関係負担金に6億1,272万円、生活保護費負担金に3億4,072万5千円、民生費国庫補助金では、平成26年4月からの消費税率引き上げに考慮して、暫定的・臨時的な措置として支給される臨時福祉給付金支給事業補助金に1億5,200万円、また、同様に子育て世帯のかたに対して支給される子育て世帯臨時特例給付金支給事業補助金に6,800万円、衛生費国庫補助金では、合併処理浄化槽設置整備事業補助金に1,381万3千円、土木費国庫補助金では、道路安全対策や街路などを整備するため社会資本整備総合交付金に2億5,845万円などを見込みました。

市債 16億1,116万円 (18.5%減)

耐用年数が長期にわたる公共施設の建設事業を実施する際の財源などとして、その年度の収入のほかに国や民間の金融機関から資金を借り入れるもので、市の借金にあたります。

後年度の元利償還金の7割が普通交付税で措置される合併特例債を中心に、災害援護資金貸付金債に1,050万円、農業生産基盤整備事業債に3,500万円、市道整備事業債に1億2,590万円、市道安全対策事業債に5,490万円、両宮排水路整備事業債に8,200万円、まちづくり交付金事業債に1億6,690万円、下菅谷地区まちづくり幹線道路整備事業債に3,040万円、菅谷市毛線街路整備事業債に2,700万円、上宿大木内線街路整備事業債に270万円、消防救急無線設備・指令センター共同化整備事業債に8,800万円を見込みました。

また、地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債(赤字地方債)は、国の地方財政計画などを考慮し9億8,786万円を見込みました。

特別会計

特別会計は特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。

前年度と比べ増減率が大きな会計としては、農業集落排水整備事業特別会計が、鴻巣地区および酒出地区の整備および戸崎地区、西木倉地区、門部地区、神崎額田地区、戸多北部地区、鴻巣地区処理場の維持管理などに要する経費、東日本大震災に係る災害復旧費などの減額を見込み、前年度比13.8%減の8億1,100万円、上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計は、工事請負費および移転補償料などの増額を見込み、前年度比13.5%増の1億8,500万円となりました。(表1参照)

水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

本年度は、浄水施設の更新に向けた実施設計をはじめ、主な建設改良事業として配水施設工事費2億4,859万6千円を予定しており、配水管布設、老朽管更新、消火栓設置などを行うとともに、施設の維持管理を強化して安定給水に努めます。(表3参照)

【表3】平成26年度水道事業会計予算額 (単位：千円)

| 区分 | | 26年度 予算額 | 25年度 予算額 | 増減率 |
|-------|----|-------------|-------------|--------|
| 収益的収支 | 収入 | 1,187,740 | 1,117,864 | 6.3% |
| | 支出 | 1,136,640 | 1,098,177 | 3.5% |
| 資本的収支 | 収入 | 115,659 | 91,127 | 26.9% |
| | 支出 | 421,935 | 580,526 | △27.3% |

歳出

一般会計の歳出のうち、人件費については、職員に係る退職手当負担金の減額などにより、前年度に比べ2.6%減額、普通建設事業費については、消防救急無線設備・指令センター共同化整備事業の皆増や、木崎地区交流センター整備事業などが増となる一方で、菅谷西小学校校舎耐震補強事業や介護基盤緊急整備等特別対策事業の皆減に加え、安心安全対策両宮排水路整備事業や両宮排水路整備事業の減などにより、前年度に比べ29.4%減額を見込んでいます。

これらの結果、法令などによりその支出が義務づけられている義務的経費は、前年度から1.6%減少し、歳出全体に占める割合は50.7%となりました。また、道路や学校の建設など社会資本の整備に要する経費である投資的経費についても、前年度から31.2%減少し、歳出全体に占める割合は7.7%となりました。

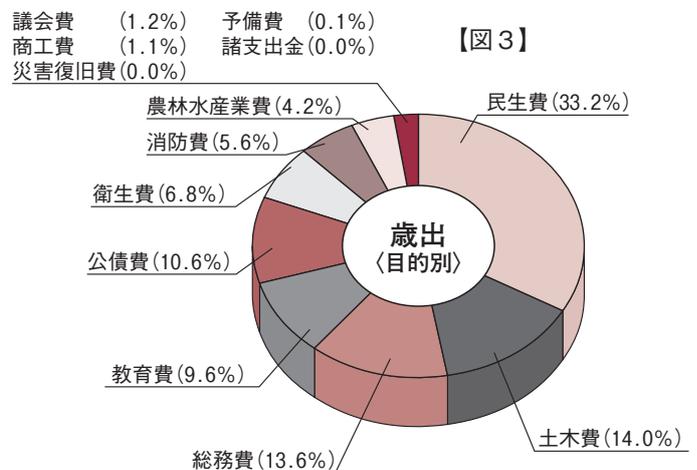
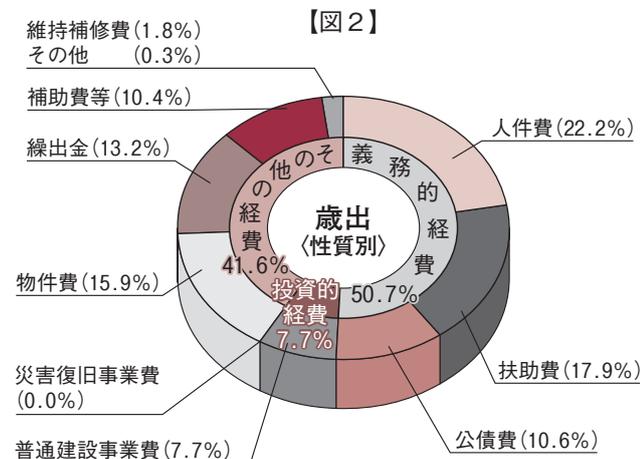
【表4】平成26年度一般会計歳出予算(性質別) (単位:千円)

| 区分 | 26年度 予算額 | 25年度 予算額 | 増減率 |
|---------|-------------|-------------|---------|
| 義務的経費 | 9,203,057 | 9,351,365 | △1.6% |
| 人件費 | 4,037,122 | 4,146,102 | △2.6% |
| 扶助費 | 3,239,231 | 3,239,782 | △0.0% |
| 公債費 | 1,926,704 | 1,965,481 | △2.0% |
| 投資的経費 | 1,392,141 | 2,024,235 | △31.2% |
| 普通建設事業費 | 1,392,131 | 1,971,665 | △29.4% |
| 補助事業費 | 408,839 | 1,010,167 | △59.5% |
| 単独事業費 | 983,292 | 961,498 | 2.3% |
| 災害復旧事業費 | 10 | 52,570 | △100.0% |
| その他の経費 | 7,554,802 | 6,994,400 | 8.0% |
| 物件費 | 2,889,535 | 2,868,013 | 0.8% |
| 維持補修費 | 332,822 | 237,478 | 40.1% |
| 補助費等 | 1,882,812 | 1,671,493 | 12.6% |
| 繰出金 | 2,393,496 | 2,160,585 | 10.8% |
| その他 ※ | 56,137 | 56,831 | △1.2% |
| 合計 | 18,150,000 | 18,370,000 | △1.2% |

【表5】平成26年度一般会計歳出予算(目的別) (単位:千円)

| 区分 | 26年度 予算額 | 25年度 予算額 | 増減率 |
|--------|-------------|-------------|---------|
| 議会費 | 223,773 | 216,334 | 3.4% |
| 総務費 | 2,472,127 | 2,368,908 | 4.4% |
| 民生費 | 6,015,253 | 5,828,879 | 3.2% |
| 衛生費 | 1,225,874 | 1,310,473 | △6.5% |
| 農林水産業費 | 769,322 | 763,675 | 0.7% |
| 商工費 | 200,418 | 161,883 | 23.8% |
| 土木費 | 2,544,395 | 2,720,814 | △6.5% |
| 消防費 | 1,009,481 | 949,550 | 6.3% |
| 教育費 | 1,742,637 | 2,011,427 | △13.4% |
| 災害復旧費 | 10 | 52,570 | △100.0% |
| 公債費 | 1,926,705 | 1,965,482 | △2.0% |
| 諸支出金 | 5 | 5 | 0.0% |
| 予備費 | 20,000 | 20,000 | 0.0% |
| 合計 | 18,150,000 | 18,370,000 | △1.2% |

※積立金、投資及び出資金、貸付金、予備費



市民一人当たりの予算額

※予算額を平成26年3月1日現在の人口55,961人で割って算出

| | | |
|--------|----------------------------|----------|
| 民生費 | 高齢者や障がい者の福祉、子育て支援、生活保護などに | 107,490円 |
| 土木費 | 道路の整備、河川、公園および市営住宅の管理などに | 45,467円 |
| 総務費 | 全般的な管理事務などに | 44,176円 |
| 公債費 | 市債の返済に | 34,429円 |
| 教育費 | 学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに | 31,140円 |
| 衛生費 | 病気予防や健康増進、火葬場斎場の運営、ごみ処理などに | 21,906円 |
| 消防費 | 消防、救急活動、災害対策などに | 18,039円 |
| 農林水産業費 | 農林業の振興、生産基盤の整備などに | 13,748円 |
| 議会費 | 議会運営に | 3,999円 |
| 商工費 | 商工業や観光の振興などに | 3,581円 |
| その他 | 予備費などに | 358円 |
| 合計 | | 324,333円 |



総務費 24億7,212万7千円 (4.4%増)

市の全般的な管理事務などの経費で、市税などの徴収や公有財産の維持管理、戸籍や住民基本台帳の管理、広報紙の発行、選挙、統計調査などに使われる費用です。

本庁舎の空調設備改修に係る経費、光熱水費、修繕料などの庁舎管理事業に1億3,770万9千円、自治会および地区まちづくり委員会の活動を支援する市民自治組織支援事業に1億830万5千円などを計上しました。

また、新たに、後台駅の駐輪場およびトイレの整備を行う後台駅駐輪場等整備事業に2,788万4千円、木崎地区まちづくり委員会の拠点施設となる木崎地区交流センター整備事業に6,465万2千円、茨城県議会議員の平成27年1月7日任期満了に伴う茨城県議会議員選挙費に1,700万円、那珂市長の平成27年2月12日任期満了に伴う那珂市長選挙費に1,960万円などを計上しました。

民生費 60億1,525万3千円 (3.2%増)

市民に一定の水準の生活と安定した社会生活を保障するための経費で、高齢者や障がい者、乳幼児のための福祉や生活保護などに使われる費用です。

障がい者(児)が地域で生活できるようサービスの給付を行う障がい福祉サービス給付事業に7億9,954万9千円、中学校修了前までの児童生徒を養育している保護者に対し児童手当を支給する児童手当支給事業に8億8,134万円、生活に現に困窮している人に対し、生活扶助費、医療扶助費および住宅扶助費などを支給する生活保護扶助費に4億5,630万円などを計上しました。

また、新たに、平成26年4月からの消費税引き上げに伴い、低所得者へ臨時福祉給付金を支給する臨時福祉給付金支給事業に1億5,200万円、同様に子育て世帯への影響を緩和するため、子育て世帯に対し、子育て世帯臨時特例給付金を支給する子育て世帯臨時特例給付金支給事業に6,800万円などを計上しました。

衛生費 12億2,587万4千円 (6.5%減)

市民が健康で衛生的な生活を送れるよう良好な環境を保持するための経費で、各種検診や予防接種、公害対策、ごみの収集処理などに使われる費用です。

水痘・ヒブ・小児肺炎球菌などの予防接種事業に1億5,480万5千円、一般家庭から排出されるごみの収集および運搬を行う家庭系可燃ごみ収集事業に1億10万8千円などを計上しました。

農林水産業費 7億6,932万2千円 (0.7%増)

農業、林業および畜産業の振興対策、生産基盤の整備、農道の維持管理、地籍調査などに使われる費用です。

農業用施設の整備を行い、農業生産性の向上および農業構造の改善を図る土地改良基盤整備事業に1億2,869万円、戸多地区地籍調査事業に803万6千円、木崎地区地籍調査事業に3,699万円などを計上しました。

商工費 2億41万8千円 (23.8%増)

商工業の振興やイベントなどの観光事業などに使われる費用です。

なかひまわりフェスティバル事業に1,347万1千円などを計上しました。

また、新たに、那珂市特産品ブランドを認証し、地場産品をアピールする特産品ブランド化推進事業に234万円、地域を愛する郷土愛の醸成と新たな観光資源を創造することで、地域の活性化を図る地域資源創造事業に423万円、静峰ふるさと公園等台帳整備事業に1,123万2千円、市内の魅力などの情報を収集するとともに、インターネットなどにより本市のイメージアップのための情報発信力の充実を図るいいまち魅力発信事業に538万1千円を計上しました。

土木費 25億4,439万5千円 (6.5%減)

道路の新設改良や維持補修、河川、公園および市営住宅の維持管理、土地区画整理や市街地整備など、社会資本の整備に使われる費用です。

自動車、自転車および歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備を行う道路改良舗装事業に2億4,910万2千円、市道の維持補修を行い、危険防止を図る道路維持補修事業に2億3,397万9千円などを計上しました。

消防費 10億948万1千円 (6.3%増)

消防本部の職員人件費、消防本部庁舎の維持管理、消防団の活動、消防施設の整備および維持管理、防災対策などに使われる費用です。

消防団設置事業に3,445万2千円、大規模災害に備え、防災物資・資機材などを備蓄する倉庫を整備する消防備蓄倉庫整備事業に2,505万円などを計上しました。

また、新たに、消防救急無線の広域化・共同化に係る共同整備を行う消防救急無線設備・指令センター共同化整備事業に8,836万4千円、消防団用無線をデジタル方式へ移行する消防団無線整備事業に459万4千円を計上しました。

教育費 17億4,263万7千円 (13.4%減)

学校教育、社会教育などの教育関係の経費で、幼稚園や小中学校の教育振興、文化・スポーツの振興などに使われる費用です。

賄材料費や給食配送委託料、臨時調理員の賃金、燃料費などの給食センター運営事業に2億9,741万2千円などを計上しました。

また、新たに、小学校統合に伴い戸多地区において運行を行うスクールバス運行事業に549万6千円、第一中学校校舎耐震補強事業に600万円などを計上しました。

公債費 19億2,670万5千円 (2.0%減)

過去に公共施設の建設事業を実施した際の財源などとして借り入れた市債を、返済するための費用です。

起債償還元金に16億8,222万9千円、起債償還利子に2億4,447万5千円などを計上しました。

(表5、図3参照)

平成26年第1回那珂市議会定例会

3月3日～20日の18日間の会期で開催

議会



市長提出議案は報告2件、条例の制定・一部改正19件、平成25年度補正予算6件、平成26年度予算9件、その他7件、合わせて43件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。

行政概要報告

■那珂ふるさと大使について

1月16日に新たに那珂ふるさと大使2人を委嘱し、中央公民館において委嘱状交付式を行い、那珂市新年賀詞交歓会で紹介しました。また、引き続き開催した情報交換会では、活動を通して感じたことやPRの手法などについて意見を交わしました。

■市長と話そうふれあい座談会について

12月1日から2月28日までに「市長と話そうふれあい座談会」を2回開催し、地域の課題についての意見交換を行うほか、施策の取り組みについて説明し、質疑を行いました。

■有害鳥獣捕獲について

茨城県からの捕獲要請により鳥獣保護区において12月2日から2月28日まで有害鳥獣（イノシシ）の捕獲を実施し、38頭捕獲しました。

■那珂市特産品ブランド化の推進について

地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業を活性化することを目的として、那珂市特産品ブランド推進協議会を設置しました。今後、ブランド認証に向けた取り組みを実施し、認証品の販売促進を図ります。

■菅谷・市毛線街路整備事業について

菅谷・市毛線道路改良舗装（第2工区）工事を1月に発注しました。

■上菅谷新駅舎の供用開始について

上菅谷新駅舎が竣工し、1月18日から供用を開始しました。

■公共下水道事業について

後台地区汚水管布設（第4工区）工事を1月に発注しました。

■農業集落排水整備事業について

業務委託については、平成26年度債務負担行為による戸崎・西木倉地区処理施設維持管理業務委託、門部・神崎額田地区処理施設維持管理業務委託および戸多北部・鴻巣地区処理施設維持管理業務委託を1月に発注しました。

請負工事については、鴻巣Ⅱ期地区舗装本復旧（第1、第2、第3工区）工事および鴻巣Ⅱ期地区マンホールポンプ設置（第4、第5工区）工事を1月に発注しました。

■那珂市教育振興大会について

2月12日に総合センターらぼーるにおいて、第10回那珂市教育振興大会を開催し、スポーツや文化などの分野で活躍されたかたがたの功績を讃えるとともに、学校教育や社会教育の分野で功績のあったかたへ感謝状が手渡されました。また、あしか

がフラワーパーク園長の塚本こなみ氏による記念講演が行われました。

■成人式について

1月11日に那珂総合公園アリーナにおいて、成人式を開催しました。今年の該当者は607人で出席者は474人、出席率は78・1%でした。

■額田城跡整備について

茨城県身近なみどり整備推進事業補助金を活用し、額田城跡森林整備工事を1月に発注しました。

■消防業務について

消防訓練指導については、12月1日から2月28日までに事業所や学校などを対象として16回行い、3006人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。

また、応急手当の普及のため、普通救命講習会を9回行い、151人が受講しました。救命入門コースは2回行い、32人が受講しました。火災出場件数については、建物1件、林野1件で合計2件、救急出場件数については、急病327件、交通事故77件、その他120件で合計524件となっています。

また、消防意識の高揚と防災活動の向上を図り、「安全で安心なまち」の実現を目指して、1月12日に那珂総合公園において、消防関係者約400人が参加し、消防出初式を開催しました。

市長提出議案

全議案可決

■東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、公共施設などにおける空間放射線量および水道水の放射性物質濃度の測定を引き続き実施するとともに、簡易測定器により、保育所や学校の給食食材および市内で生産された農畜産物を独自に検査し、食における安全の確保と風評被害の防止に努めています。これらの測定結果については、市ホームページや広報紙などで公表しています。

また、2月28日に茨城県トラック

◎報告

専決処分報告について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）／専決処分報告について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）

◎条例の制定・一部改正

那珂市手数料条例の一部を改正する条例／那珂市公園墓地条例の一部を改正する条例／那珂市環境審議会条例の一部を改正する条例／那珂市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例／那珂市放課後学童保育対策事業条例の一部を改正する条例／静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例／那珂市公共下水道条例の一部を改正する条例／那珂市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例／那珂市水道事業給水条例の一部を改正する条例／那珂市立学校給食センターの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例／那珂市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例／那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例／那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例／那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例／那珂市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例／那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例／那珂市安全な飲料水の確保に関する条例／那珂市消防長及び消防署長の資格を定める条例／那珂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

◎平成25年度補正予算

平成25年度那珂市一般会計補正予算（第4号）／平成25年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）／平成25年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第4号）／平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）／平成25年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）／平成25年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）

◎平成26年度予算

平成26年度那珂市一般会計予算／平成26年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算／平成26年度那珂市下水道事業特別会計予算／平成26年度那珂市公園墓地事業特別会計予算／平成26年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算／平成26年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算／平成26年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算／平成26年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算／平成26年度那珂市水道事業会計予算

◎その他（同意を含む）

那珂町・瓜連町新市まちづくり計画の変更について／公の施設の広域利用に関する協議について／市道路線の認定について／市道路線の廃止について／工事請負契約の締結について／那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について／那珂市監査委員の選任について

協会水郡線支部と地震などの大規模災害時における物資などの緊急救援輸送のため「災害時緊急救援輸送の協力に関する協定」を締結しました。被災した施設の復旧については、鴻巣地区管路施設復旧（第3工区）工事を1月に発注しました。農畜産物の損害賠償額については、2月末までの申請で、JAひたちなか請求者数を含め累計で107件、請求額8210万円です。また、請求に伴う東京電力からの支払

7873万円となっています。また、市内および県内農産物の放射性物質検査については、原木しいたけを除いたすべての農産物で未検出または基準値以下であり、出荷制限は解除されています。被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度による国の支援金および県・市の災害見舞金を支給しており、2月末現在の支給状況は、次のとおりです。

総額2億4500万円です。県の災害見舞金は、半壊179件で537万円です。市の見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が242件、非住家の半壊以上が278件、合計566件で総額1948万円です。また、災害援護資金の貸付は、10件で1930万円です。

平成26年3月3日

那珂市長 海野

徹

那珂市名誉市民を選定しました

問い合わせ

秘書広聴課秘書グループ

☎298-1111(内線423・424)

平成17年1月21日に誕生した那珂市は、平成26年度に市制施行10周年を迎えます。

これを記念して、このたび市として初めて、名誉市民の称号を贈呈して顕彰することに決定しました。

名誉市民章の贈呈式は、市制施行10周年記念式典(11月に開催予定)で行います。ここでは、今回選定された4人の名誉市民のかたがたをご紹介します。また、広報なか5月号からは、名誉市民のかたがたを1人ずつ詳しくご紹介していきます。

那珂市名誉市民とは…

「那珂市名誉市民条例」で、那珂市に居住し、もしくは居住していたかた、または那珂市に関係の深いかたで、地方自治の進展、社会福祉の増進、産業の振興、教育・文化・学術・技芸・スポーツの向上に多大な貢献をし、市民が郷土の誇りとして、ひとしく尊敬するかたに「那珂市名誉市民」の称号を贈り顕彰すると定められています。

名誉市民章



<那珂市名誉市民選定者(4人)>

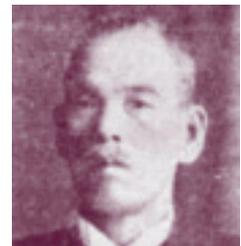
(故) 根本 正氏
(1851) (1933)



嘉永4年(1851年)、東木倉村(現在の那珂市東木倉)に生まれました。27歳の時に渡米し、バーモント大学を卒業後に帰国し、明治31年(1898年)に初当選してから、衆議院議員を連続10期務めました。

衆議院議員在職中は、義務教育の無償化や未成年者の喫煙・飲酒を禁止する法案を成立させました。また、水郡線の全線開通や利根川の治水工事の促進、高層気象台の設置など数多くの業績を残しました。

安政6年(1859年)、金砂郷村(現在の常陸太田市)に生まれました。明治9年(1876年)、鴻巣村(現在の那珂市鴻巣)で醤油醸造業を営む宮本家の養子となりました。明治18年(1885年)に27歳で茨城県議会議員に当選すると、その後20年間県政に尽力するとともに、明治22年(1889年)には芳野村長を兼任し、那珂郡役所の菅谷村への誘致に尽力しました。さらに、大正6年(1917年)の初当選から衆議院議員を2期務め、常陸鴻巣停車場(現在の常陸鴻巣駅)の設置など地域の発展に多大な貢献をしました。



(故) 宮本 逸三氏
(1859) (1930)

(故) 中井川 浩氏
(1900) (1949)



明治33年(1900年)、木崎村(現在の那珂市門部)に生まれました。新聞社に勤務した後、昭和4年(1929年)に土浦町議会議員に当選しました。昭和6年(1931年)には那珂郡選挙区から出馬し、茨城県議会議員に当選しました。

さらに、昭和7年(1932年)の初当選から衆議院議員を4期務め、大臣秘書官、政務次官を歴任するなど中央政界で活躍しました。また、阿見町の旧海軍航空隊跡地に財団法人霞ヶ浦農科大学(現在の茨城大学農学部および霞ヶ浦高等学校)を創設するなど数多くの業績を残しました。

大正2年(1913年)、瓜連村(現在の那珂市古徳)に生まれました。昭和22年(1947年)、瓜連町長に当選し、その後一旦町長の座を退き、アメリカのペパーダイン大学に留学しました。帰国後の昭和30年(1955年)に瓜連町長に復帰した後、昭和34年(1959年)から4期茨城県知事を務め、鹿島臨海工業地帯・筑波研究学園都市の開発などに尽力しました。

また、昭和52年(1977年)から参議院議員を3期務め、公文書館法を制定するなど国政においても活躍しました。



(故) 岩上 二郎氏
(1913) (1989)

水郡線上菅谷新合築駅舎竣工式典

上菅谷駅が新しくなりました



3月16日、水郡線上菅谷新合築駅舎竣工式典を海野市長はじめ関係者約60人が出席し開催しました。

那珂太鼓保存会の勇壮な演奏を合図に開会した式典では、主催者、来賓のあいさつの後、那珂ふるさと大使のまついえつこさんによる水郡線をテーマにした歌「ボクの恋（ハート）は水郡線」が披露され会場は大変盛り上がりしました。

また、ひまわり大使ナカマロちゃんやJR水戸支社のイメージキャラクター「ムコナくん」の登場もありました。さらに、「ミス・ユニバース・ジャパン茨城大会」準グランプリに輝いた那珂市にお住まいの岩下愛莉さんが、会場でお手伝いをして式典に花を添えてくれました。



◆新しくなった上菅谷駅舎



◆ミス・ユニバース・ジャパン茨城大会準グランプリの岩下愛莉さん、ナカマロちゃん、ムコナくん



◆那珂ふるさと大使まついえつこさん

1月25日から2月2日まで開催された第65回毎日・茨城杯茨城県中学生バスケットボール大会で、那珂四中男子バスケットボール部が準優勝の成績をおさめました。

今年の那珂四中は、菅谷東ミニバスケットボール少年団からのチームメイトが多く、選手も「仲のいいチーム」「元気があるチーム」と語ります。身長の高いチームが有利といわれるバスケットボール。中学生でも180cm台の選手は珍しくありませんが、今年の那珂四中は160cm台の選手が多く、チーム最長身である下山武人さんが172cmと、決して高さのあるチームではありません。

しかし、その分、運動量でカバーするディフェンスはチームの特長です。主将の会沢夕羅さんも、「ディフェンスからの速いバスケット」と自分

たちのスタイルについて話します。昨秋の新人戦では、中央地区大会で優勝したものの、県大会では準々決勝で敗退。この大会の1週間前には、もつと上の成績を狙おうとミートイングを行い、そこからチームがさらにまとまったそうです。

184校が参加した中、順調に勝ち進んだ那珂四中は、準々決勝で県新人戦準優勝の桜中（つくば市）と対戦。監督・選手とも、この試合が一番印象深い試合だったと口を揃えます。那珂四中の2年生メンバーは、新人戦だけでなく、ミニバス時代にも県の準々決勝が最高成績であり、勝てばその壁を越えられるということで、意識はしていたそうです。

第1クォーターに11点のリードを奪いますが、終盤に同点に追いつかれ、試合は延長戦へ。追いつかれたことや退場もあり、嫌な感じもあったと言いますが、「いける」と声をかけたあった那珂四中は、55対51で競り勝ち、準決勝進出を決めました。

その後、準決勝も勝利しましたが、決勝戦では逆転負けを喫してしまい、悔しい準優勝となりました。夏の総体へ向けてメンバーは「県で優勝して、関東大会に出場する」と力強く語れば、萩谷勇太監督も「総体につながるいい負けだったと言えるように精進したい」と話してくれました。今回の経験を糧に、夏には県の頂点を目指します。



平成26年度那珂市まちづくり出前講座をご利用ください！

まちづくり出前講座とは、市役所の仕事を市民の皆様にご覧いただくために、ご希望のテーマについて市の職員を講師として派遣する制度です。市内に在住、在勤または在学する10人以上のグループでしたら、どなたでもご利用いただけますので、「まちづくり出前講座メニュー」をご参照の上、ふるってご利用ください。なお、利用方法などの詳細については、市民協働課までお問い合わせください。

【まちづくり出前講座メニュー】

| 分野 | 講座番号 | 講座名称 (テーマ) | 説明内容 (概要) | 担当 | 説明時間 | |
|-------------------|---------|------------------------|---|----------------------------------|---------------|-----|
| ① 市民との協働のまちづくり | 1 | 協働のまちづくりの取り組みについて | 市が進めている協働のまちづくりの基本的な方向性についての概要を説明します。 | 市民協働課 市民活動グループ | 30分～60分 | |
| | 2 | 男女共同参画について | 那珂市男女共同参画プラン、啓発紙、パワーポイントなどを使って説明します。 | | 50分 | |
| | 3 | 身近な人権教育を考える | 人権について考え、人権意識を高める学習を行います。 | 秘書広聴課市民相談室市民相談グループ、生涯学習課社会教育グループ | 45分～60分 | |
| ② 防災・防犯・交通安全 | 4 | いざと言う時のために応急手当を覚えよう | 身近なところで起こる、けが・病気に対する応急手当を習得します。 | 消防本部警防課 警防グループ | 60分～90分 | |
| | 5 | とっさの時の応急手当(心肺蘇生法)を覚えよう | 突然の心停止などに対する応急手当の習得およびAEDの使用方法を習得します。 | | 3時間以上 | |
| | 6 | 火災を防ぐ | 住宅用火災警報器・消火器などについて説明します。 | 消防本部予防課 予防グループ | 60分 | |
| | 7 | 家庭・地域での防災力の向上 | 家庭でできる防災の心がけ、自主防災組織の設立や活動内容、防災に関する市の取り組みについて説明します。 | 防災課 防災グループ | 30分 | |
| | 8 | 家庭・地域での防犯力の向上 | 家庭でできる防犯の心がけ、自警団(防犯パトロール隊)の設立や活動内容、防犯に関する市の取り組みについて説明します。 | | 30分 | |
| | 9 | 交通安全対策の取り組みについて | 交通事故の現状や市・那珂警察署・交通関係団体が行っている交通事故防止に向けた取り組みについて説明します。 | | 30分 | |
| | 10 | 私たちの暮らしと放射線 | 放射線の基礎知識などについて説明します。 | 防災課 原子力グループ | 60分 | |
| | 11 | 悪質商法と対処法 | 悪質商法の内容とその対処法について説明します。 | 環境課 消費生活センター | 60分 | |
| | ③ 環境 | 12 | ごみの分別・減量等について | ごみの分別・減量などについて説明します。 | 環境課 環境グループ | 45分 |
| | | 13 | 環境基本計画について | 環境基本計画の概要について説明します。 | | 45分 |
| | | 14 | 地球温暖化防止について | 地球温暖化防止計画の概要について説明します。 | | 30分 |
| ④ 道路・建設 | 15 | 都市計画街路について | 当市における都市計画街路の整備状況について説明します。 | 都市計画課 都市計画グループ、 都市整備グループ | 20分 | |
| | 16 | 街づくりの進め方について | 当市における街づくり事業の事例紹介について説明します。 | | 30分 | |
| ⑤ 上下水道 | 17 | 公共下水道について | 公共下水道のしくみ、宅地内の排水設備、受益者負担金、公共下水道使用料などについて説明します。 | 下水道課 工務・管理グループ、 業務グループ | 45分 | |
| | 18 | 農業集落排水事業について | 農業集落排水のしくみ、宅地内の排水設備、受益者負担金、農業集落排水使用料などについて説明します。 | | 45分 | |
| ⑥ 福祉・医療・健康・年金 | 19 | 生活習慣病予防講座 | メタボリックシンドロームを中心に、生活習慣を改善する方法を学びましょう。 | 健康推進課 健康増進グループ | 60分 | |
| | 20 | 子どもの食事について | 乳幼児期からの栄養について学びましょう。 | 健康推進課 母子保健グループ | 60分 | |
| | 21 | 子どもの健康づくりについて | 子どもが健やかに育つよう、乳幼児期からの身体づくりについて学びましょう。 | | 60分 | |

| 分野 | 講座番号 | 講座名称 (テーマ) | 説明内容 (概要) | 担当 | 説明時間 |
|---------------------------------|------|--------------------------|--|--------------------------|-------------|
| ⑥ 福祉・ 医療・ 健康・ 年金 | 22 | 子育て支援について | 子育て支援事業の概要について説明します。 | こども課 子育て支援グループ | 40分 |
| | 23 | 幼児の発達と かわり方について | 乳幼児の食育・親子遊びなどについて説明します。 | こども課 保育所、子育て支援センター | 40分 |
| | 24 | 高齢者の福祉サービス | 介護保険以外の高齢者施策について説明します。 | 介護長寿課 高齢者支援グループ | 20分～ 30分 |
| | 25 | 障がい者のサービスについて | 総合支援法によるサービスを含め、当市で受けられるサービスについて説明します。 | 社会福祉課 障がい者支援グループ | 60分 |
| | 26 | 介護保険制度 | 介護保険制度の概要について説明します。 | 介護長寿課 介護保険グループ | 45分 |
| | 27 | 国民年金について | 国民年金の概要について説明します。 | 保険課 保険・年金グループ | 30分 |
| | 28 | 国民健康保険について | 国民健康保険の概要について説明します。 | | 45分 |
| | 29 | 後期高齢者医療制度について | 後期高齢者医療制度の概要について説明します。 | | 30分 |
| | 30 | 地域包括支援センター | 地域包括支援センターの業務内容について説明します。 | 介護長寿課 高齢者支援グループ | 30分 |
| ⑦ 教育・ 生涯学習・ 生涯 スポーツ | 31 | 那珂市の学校教育について | 学校教育の基本方針について説明します。 | 学校教育課 指導室 | 30分 |
| | 32 | 特別支援教育体制について | 特別支援に関する相談体制と就学相談について説明します。 | 学校教育課 学務・施設グループ | 30分 |
| | 33 | 教育支援センターにおける相談体制について | いじめ問題や不登校児童生徒への対応について説明します。 | 学校教育課 指導室 | 30分 |
| | 34 | いつでも、誰でも、 気軽に立ち寄れる図書館 | 市立図書館の概要について説明します。 | 生涯学習課 図書館管理グループ | 30分 |
| | 35 | 那珂市のスポーツ振興 | スポーツ振興計画と各種教室について説明します。 | 生涯学習課 スポーツ推進室体育グループ | 30分 |
| ⑧ 歴史・文化 | 36 | 那珂市の歴史と文化財 | 那珂市の古代からの歴史や、市内の指定文化財、遺跡などを紹介します。 | 生涯学習課 歴史民俗資料館歴史民俗グループ | 60分 |
| ⑨ 産業・ 観光 | 37 | 那珂市の観光 | 那珂市の観光地の見所や、イベントなどについて紹介します。 | 商工観光課 商工観光グループ | 30分 |
| | 38 | 那珂市の農業について | 那珂市の農業振興や、農業の現状について説明します。 | 農政課 農業振興グループ | 30分 |
| ⑩ 行政改革・ 財政・ 税金 | 39 | 那珂市総合計画 | 第1次那珂市総合計画の概要について説明します。 | 政策企画課 政策企画グループ | 30分 |
| | 40 | わが市の台所事情 (財政) | 那珂市の財政状況について説明します。 | 財政課 財政グループ | 60分 |
| | 41 | 市民税・固定資産税のしくみ | 市税に関する税制度を、資料を基にわかりやすく説明します。 | 税務課 市民税グループ、資産税グループ | 60分 |
| | 42 | 那珂市の行政改革 | 那珂市の行政改革の取り組みを説明します。 | 行財政改革推進室 行革・監査グループ | 60分 |
| ⑪ その他 | 43 | 陳情・請願の申請について | 陳情・請願の申請手続き方法について説明します。 | 議会事務局 総務・議事グループ | 10分 |
| | 44 | 選挙のしくみ | 選挙についてやさしく説明します。 | 総務課 総務グループ | 30分 |
| | 45 | 情報公開と個人情報保護 | 市の情報公開制度に基づく情報の開示と個人情報の保護について解説します。 | | 30分 |

※講師料は無料ですが、材料費などをご負担いただく場合があります

問い合わせ

市民協働課市民活動グループ

☎298-1111(内線263・265)

～自然体験を通じての環境教育～

私たちの周りには、さまざまな環境問題が起きています。このコーナーでは、その解決の糸口などを連載していきます。もう一度、わがまちの環境について考えてみませんか。

◆自然は、子どもの豊かな感性を育みます

お子さんを連れて公園へ出かけませんか。那珂市には、県民の森や茨城県植物園のほか、静峰ふるさと公園、清水洞の上公園、宮の池公園、一の関ため池親水公園などのほか、14の都市公園があります。

自然は、子どもの健全な成長・発達に欠かすことのできないものです。

自然に触れる

- ⇒自然に関心をもち自然に対する感性を高める
- ⇒自然に対する観察力を持つ
- ⇒自然と人間とのかかわりについて考える
- ⇒自然と人間とのかかわりのしくみを理解する
- ⇒環境保護の必要性について科学的な理解ができるようになる



という自然体験プロセスを段階的に進めることにより、子どもは、自然と共存するものであるということを知り、環境に配慮した生活行動を自然にできるような環境観を持つことができるようになるのです。こうした自然体験は、子どもの健康な心身を育みます。また、自然は、地域にある場所・施設で体験することにより、子どもは、地域の自然や歴史に愛着を持つようになるので、より効果的です。

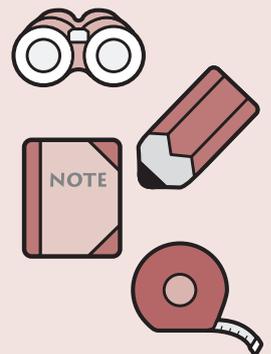
教育基本法の中には教育の目標のひとつとして、「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」とあります。また、学校教育法の中には、「学校内外における自然体験活動を促進し、生命および自然を尊重する精神ならびに環境の保全に寄与する態度を養うこと」と定められています。

戸外、特に自然の中で遊ぶ経験が不足している今、子どもの環境意識を育てるとともに総合的な発達を促すため、学校だけでなく、各家庭でも、子どもが豊かな自然の中で学ぶ環境を工夫し整えたいものです。

★観察に出かける前に★

<持っていくと便利なもの>

- | | |
|---|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 虫めがね | 葉っぱや花、木の皮の様子を観察しましょう。 |
| <input type="checkbox"/> メジャー | 木の高さや太さを測ってみましょう。 |
| <input type="checkbox"/> 双眼鏡 | 高い木を見たり、遠くにあるものを見てみましょう。 |
| <input type="checkbox"/> 温度計 | 気温を測ることも大切です。 |
| <input type="checkbox"/> 小さな入れ物 | ビニール袋などでもOKです。 |
| <input type="checkbox"/> 学習ノートと 筆記用具 | 観察したことを記録しましょう。 |



◆子どもと植物遊びをしよう

とても柔軟で心の動く時期といわれている幼児期には、自然体験がとても重要です。五感をとおして「わあ、きれい」「いいにおい」「おもしろい音」「ごつごつしている」「おいしいな」といったさまざまな感覚を体験することが大切なのです。そこで、子どもと植物遊びをしに公園へ出かけませんか。

たとえば、大きな木の幹に耳をあてて、音を聞いてみましょう。樹木が水を吸い上げる音、枝のきしむ音、揺れる音など、いろいろな音が聞こえてきます。また、図に示すように、いろいろな木肌の感触を味わい、こすりだして遊ぶのはどうですか。いろいろな植物遊びを考えてみてください。

幼児は、実際に触れる中で、自然の変化を感じ、自然と遊び、心動かされる。こうして自然に対する興味・関心が育ち、豊かな感性が育まれていきます。幼児期の豊かな自然体験は、人間の生きる力の源泉を築くのです。この場面に立ち会う保育者として何より大切なのは、自らが感性を豊かに保ち、子どもの自然へのかかわりに共鳴していくことです。子どもとともに豊かな自然体験を満喫し、「生きる力」を育てていってください。



図 モビールを例にした工作

樹木が吸収する二酸化炭素 (CO₂) の量は？

樹木をはじめ植物は、大気中の二酸化炭素を吸収して光合成を行い、酸素を放出するとともに炭素を有機物として幹や枝などに蓄え成長します。特に、樹木は増加しつつある大気中の二酸化炭素の吸収源として重要な役割を担っています。樹木も動物と同様に、呼吸によって酸素を吸って二酸化炭素を放出しています。しかし、光合成に使われる二酸化炭素量は樹木の呼吸から出る二酸化炭素量よりも上回るので、差し引きすると環境中の二酸化炭素を吸収していることとなります。

樹種、若木か老木か、日照量などにより、樹木の二酸化炭素吸収量は異なるので、ここでは概算値を算出してみます。

まず、幹の太さを測定します。樹木の高さが約3m以上の高木の場合は地面から1.2mの高さで、樹木の高さが約3m未満の中低木の場合は根元で、幹周りの長さを測り、樹木の幹の太さとしします。樹木の幹の太さから、右の表を用いて、樹木1本の葉の総面積(①)を求めます。樹木の葉1㎡が1年間に吸収する二酸化炭素の量は、樹種に関わらず、一律2.6kg-CO₂/m²・年間(②)として計算することにします。

上記①と②の積(①×②)が、樹木1本が1年間に吸収した二酸化炭素の概算量となります。

表 単木形状別総葉量の推定表

| 幹の太さ (cm) | 木の形状別 木1本の総葉量(m ²) | | 中低木 |
|--------------|--------------------------------|-----------|-----|
| | 高木(高さ5メートル以上の木) | 落葉広葉樹・マツ類 | |
| 6 | 4 | 3 | 1 |
| 9 | 9 | 5 | 2 |
| 12 | 14 | 9 | 3 |
| 15 | 20 | 13 | 6 |
| 30 | 64 | 41 | 27 |
| 45 | 130 | 82 | 70 |
| 60 | 210 | 130 | — |
| 75 | 300 | 200 | — |
| 90 | 410 | 270 | — |
| 120 | 660 | 440 | — |
| 150 | 960 | 640 | — |

「那珂市特産品ブランド」認証制度スタート ～認証商品などを募集～

7月開始予定

那珂市内の地域資源を活用した商品づくり、地域資源のブランド化を効率的に推進するため、那珂市特産品ブランド推進協議会を平成26年2月21日に設置しました。

市内の優れた地域資源を活用した商品などを「那珂市特産品ブランド」として認証することにより、市の魅力を広く発信し、市の認知度やイメージアップを目指しています。「那珂市特産品ブランド」に認証する商品などを募集し、認証された商品については、「那珂市特産品ブランド」として各種広報媒体やメディアなどをとおしてPRしていきます。

■対象となる認証商品

那珂市産の農作物および農作物を使用した加工食品など

■申請要件

- ①市内で加工食品を製造している事業者
- ②市外に本拠を置き、市内で加工食品を製造している事業者
- ③那珂市産の農産物の生産者組織・団体

※申請は1事業者につき、1商品に限り申請できます（新規申請）

※1年以上継続して製造・生産・販売した実績のあるもの



「那珂市特産品ブランド」 ロゴマークを募集します

6月開始予定

市内の優れた地域資源を活用した商品「那珂市特産品ブランド」を認証するに当たり、認証商品に貼付するロゴマークのデザインを募集します。

■テーマ

「那珂市特産品ブランド」認証商品の価値を広く全国に向けてPRできるロゴマーク

■募集内容

那珂市特産品ブランドのイメージを表現したマークに、ブランド名「那珂市特産品ブランド」のロゴを組み合わせたもの

※採用した作品にかかる著作権、商標権など一切の権利は那珂市に帰属し、「那珂市特産品ブランド」認証商品のPRに活用します

■応募資格

応募は1人（1グループ）1点の応募とします

■応募方法

A4白色用紙を縦長で使用し、裏面に天地を明示してください。応募にあたっては、「デザイン名、デザインの趣旨、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業または学校名・学年」を記入した用紙を添付してください。応募は、持参するか、封書による郵送で受け付けます。

◆募集要領は、後日広報なか「おしらせ版」や市ホームページでお知らせします。

問い合わせ

那珂市特産品ブランド推進協議会事務局（商工観光課商工観光グループ内）
☎298-1111（内線243）

■住宅用火災警報器を設置しましょう！

住宅火災で亡くなったかたのうちの6割から7割は「逃げ遅れ」が原因です。特に就寝中における火災での逃げ遅れが多く、火災の発生を早く知っていれば、助かったかたも多かったのではないかと推測されます。

このようなことから、住宅火災による死者を減らすため、平成23年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が、義務づけられました。

住宅用火災警報器とは、火災による煙または熱をいち早く感知し、火災の発生を警報音や音声で知らせてくれる警報器です。住宅用火災警報器の設置により、万が一火災が発生した場合でも、素早く避難ができるようになります。

- ※義務設置：寝室、階段（煙式）2階に
寝室がない場合階段は除く
- ※任意設置：台所、居室（煙式または熱式）



◆婦人防火クラブと実施した戸別調査

■3割はまだ設置していません

消防本部では、毎年春の火災予防週間（3月1日から7日）に住宅用火災警報器の設置促進PR活動を行っています。今年も、そのほか、那珂市婦人防火クラブ7団体の協力のもと、無作為に抽出したご家庭に対し、一軒ずつ戸別調査を行いました。

今回の調査の結果、約3割の住宅でまだ警報器が設置されていませんでした。

消防本部では、いざという時に命を守ってくれる住宅用火災警報器のPR活動をこれからも行っていきます。

■悪質な訪問販売に注意！

住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、高額な価格、無理強い販売などを行う業者がいます。

また、消防職員・市職員が住宅用火災警報器を販売することはありません。

◎おかしいと思ったら

- ★はっきり断る
- ★書類（契約書）には、押印やサインをしない
- ★相手が脅迫的な行動に出たときは、警察に通報する

★恐ろしい一酸化炭素中毒★

火災による死因で多いのは、やけどと一酸化炭素中毒・窒息です。一酸化炭素は、火災によって生じる煙に含まれています。3～4分吸い込むと昏睡状態に陥るので非常に危険です。たとえ火元から離れた場所にいっても、火災発生に気づくのが遅れると、逃げ遅れて煙に巻かれ、死に至るケースが少なくありません。このことから、住宅用火災警報器の設置により、火災の発生をいち早くキャッチすることが重要と言えるでしょう。

問い合わせ 消防本部 ☎295-2111



◆新着本紹介

【一般書】

- 『防災ピクニックが子どもを守る!』/
MAMA-PLUG 編・著
- 『35歳から子育てはじめました!』/
主婦の友社 編
- 『スクール之夜』/芦崎笙 著
- 『おい!山田』/安藤祐介 著
- 『よるのふくらみ』/窪美澄 著
- 『僕と先生』/坂木司 著
- 『代理処罰』/嶋中潤 著

【児童書】

- 『ひそひそ森の妖怪』/
富安陽子 作・山村浩二 絵
- 『ミシンのうた』/こみねゆら 作
- 『なぞなぞフッフーフー』/
武田美穂 作
- 『きょうりゅうじゃないんだ』/
齊藤洋 作・高島純 絵
- 『おたまじゃくしのしょうがっこう』/
かこさとし 作・絵

★『おかあさんだいすきだよ』/
みやにしたつや 作・絵/金の星社

ぼくはお母さんが大好きだけど、お母さんはぼくをしかってばかり。優しくしてくれたら、もっと好きなのに。みんなのお母さんはどんなお母さん?お母さんのこと、好き?



(出典:TRC MARC)

短期大学生によるおはなし会

4月から茨城女子短期大学保育科の学生によるおはなし会が、おはなしコーナーで始まります。予約不要、参加費無料ですのでお気軽にお立ち寄りください。これから保育士を目指す学生さんたちと一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

日程: 4月22日(火)、5月13日(火)、
6月24日(火)、7月8日(火)

※8月以降は別途お知らせします

時間: 午前11時~

場所: おはなしコーナー

図書館カレンダー

5月

May

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

休館日

おはなし会

- 15日 午前10時30分~
- 18日 午後2時~
- 23日 午後3時~



選挙いろいろ

Q & A

このコーナーでは、市民の皆さんが選挙について抱いている疑問や、知りたいことについてお答えしていきます。

Q 未成年者でも選挙運動できるの??

A 未成年者は、選挙運動をすることができません。ただし、選挙運動のための労務に従事することは差し支えありません。「選挙運動のための労務」とは、選挙事務所において文書の発送、物品の搬送などの機械的な作業をいいます。これに対して連呼行為など選挙人に直接働きかける行為は、選挙運動に当たると見做され禁止されます。

Q 選挙運動にかかるお金の制限はあるの??

A 選挙運動のために使用することができる費用の最高額(法定制限額)は、各選挙ごとに定められています。選挙の期日の公示または告示があった後、当該選挙に関する事務を管理する選挙管理委員会または中央選挙管理委員会が告示します。

那珂市長選挙と那珂市議会議員一般選挙の場合を例に挙げると次のとおりです。

◆那珂市長選挙

告示日における選挙人名簿登録者数×81円+310万円

◆那珂市議会議員一般選挙

告示日におけるその選挙区内の選挙人名簿登録者数÷その選挙区内の議員定数×501円+220万円

【例】平成26年3月2日を告示日とした場合】

○那珂市長選挙

4万6063人×81円+310万円=683万1200円

○那珂市議会議員一般選挙

4万6063人÷22人×501円+220万円=324万9000円

問い合わせ

那珂市選挙管理委員会

☎298・1111

(内線514・515)

那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小中学校、幼稚園、都市公園、保育所（園）、体育施設などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小中学校、幼稚園

| 担当課および測定場所 | 測定値 | 測定日 |
|------------|---------|------------|
| 学校教育課 | 本米崎小学校 | 0.083 3月5日 |
| | 横堀小学校 | 0.067 3月4日 |
| | 額田小学校 | 0.060 3月3日 |
| | 菅谷小学校 | 0.071 3月6日 |
| | 菅谷東小学校 | 0.071 3月3日 |
| | 菅谷西小学校 | 0.079 3月3日 |
| | 五台小学校 | 0.076 3月3日 |
| | 戸多小学校 | 0.088 3月3日 |
| | 芳野小学校 | 0.083 3月3日 |
| | 木崎小学校 | 0.068 3月4日 |
| | 瓜連小学校 | 0.091 3月7日 |
| | 横堀幼稚園 | 0.075 3月6日 |
| | 額田幼稚園 | 0.064 3月3日 |
| | 菅谷幼稚園 | 0.064 3月6日 |
| | 菅谷西幼稚園 | 0.095 3月6日 |
| | 五台幼稚園 | 0.090 3月5日 |
| | 芳野幼稚園 | 0.067 3月4日 |
| | 那珂第一中学校 | 0.062 3月3日 |
| | 那珂第二中学校 | 0.076 3月3日 |
| | 那珂第三中学校 | 0.078 3月3日 |
| | 那珂第四中学校 | 0.055 3月3日 |
| | 瓜連中学校 | 0.073 3月3日 |
| | 茨城学園 | 0.076 3月3日 |
| | ナザレ幼稚園 | 0.055 3月4日 |
| | さいせい幼稚園 | 0.093 3月4日 |
| | 大成学園幼稚園 | 0.077 3月7日 |

○公共施設

| 担当課および測定場所 | 測定値 | 測定日 |
|------------|--------------|-------------|
| 健康推進課 | 保健センター(ひだまり) | 0.090 3月4日 |
| | 中央公民館 | 0.089 3月4日 |
| 生涯学習課 | 図書館 | 0.083 3月6日 |
| | 那珂総合公園 | 0.087 3月4日 |
| | 歴史民俗資料館 | 0.093 3月2日 |
| | ふれあいの杜公園 | 0.095 3月4日 |
| 市民協働課 | ふれあいセンターよこぼり | 0.089 3月12日 |
| | ふれあいセンターごだい | 0.093 3月12日 |
| | ふれあいセンターよしの | 0.089 3月12日 |
| | 総合センターらぼーる | 0.096 3月12日 |
| 那珂聖苑 | 那珂聖苑 | 0.106 3月23日 |
| 都市計画課 | 中谷原公園 | 0.101 3月4日 |
| | 宮の池公園 | 0.090 3月4日 |
| 商工観光課 | 一の関ため池親水公園 | 0.084 3月11日 |
| | 静峰ふるさと公園 | 0.085 3月11日 |

○保育所、保育園など

| 担当課および測定場所 | 測定値 | 測定日 |
|------------|-----------|------------|
| こども課 | 菅谷保育所 | 0.068 3月6日 |
| | 額田保育所 | 0.071 3月7日 |
| | ゆたか保育園 | 0.086 3月3日 |
| | かしま台保育園 | 0.073 3月3日 |
| | ごだい保育園 | 0.089 3月4日 |
| | 瓜連保育園 | 0.085 3月6日 |
| | 子育て支援センター | 0.074 3月6日 |

○測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト/時間です。

○小中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。

○測定結果は、すべて国の除染などの基準を下回っています。

○その他の高さの測定値は市ホームページをご覧ください。

●水道水の環境放射能水準調査結果

2月15日から3月14日までの期間、市内各浄水場（後台、木崎、瓜連）および芳野配水場の水道水の放射性物質（放射性ヨウ素および放射性セシウム）の測定結果は、いずれも不検出となっています。

各浄水場および芳野配水場の測定は週1回行っています。詳細は、市ホームページに掲載しています。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後には、手や顔を洗い、うがいをする。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合には、うがいをする。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ぼこりや砂ぼこりが多いときは、窓を閉める。

問 那珂市役所
 学校教育課
 健康推進課
 生涯学習課
 市民協働課
 都市計画課
 商工観光課
 こども課
 水道課
 那珂聖苑

☎298-1111
 内線8274
 内線531
 内線8282
 内線263
 内線355
 内線245
 内線252
 内線8365
 ☎352-0073

市職員の仕事異動

(課長級以上)

那珂市職員の人事異動(課長級以上)をお知らせします。

桐原浩彰

■社会福祉課 次長兼課長 大部公

男

【行財政改革推進室(監査委員事務局)】

室長(事務局長) 車田豊

■こども課 課長 高橋秀貴

■介護長寿課 課長 篠原英二

■保険課 参事兼課長 内山克三

■健康推進課 課長 菊池正明

【企画部】

部長 関根芳則

■秘書広聴課 参事兼課長 石川透

■政策企画課 次長兼課長 平山俊夫

【産業部】

部長 助川保彦

■農政課 次長兼課長 佐々木恒行

■商工観光課 課長 引田克治

【総務部】

■財政課 課長 加藤裕一

■収納課 課長 山田甲一

■瓜連支所 支所長 吽野啓次

【建設部】

部長 岡崎隆

■土木課 次長兼課長 富田慶治

副参事兼用地室長 植田孝二

■都市計画課 課長 小泉正之

■建築課 課長 箕川一男

【上下水道部】

部長 樫村悦雄

■下水道課 次長兼課長 石川裕

■水道課 課長 綿引智

【保健福祉部】

参事(那珂市社会福祉協議会派遣)

■会計課 会計管理者兼課長 野上隆男

【議事事務局】

参事兼事務局次長 深谷忍

【農業委員会事務局】

事務局長 樫村武

【教育委員会】

教育部長 会沢直

■学校教育課 次長兼課長 園部勢津子

■生涯学習課 参事兼課長 阿久津英樹

【消防本部】

消防長 豊島克美

■総務課 次長兼課長 増子正行

■警防課 課長 野口英雄

■予防課 参事兼課長 寺門忠

■通信指令室 室長 飛田裕二

■東消防署 署長 後藤洋治

■西消防署 署長 海野幹雄

【新規採用】

櫛田亮太/益子拓弥/田所聖子/會澤顯/須藤かなみ/勝山達也/大倉未和/細谷悠一/市毛香子/寺門恵美/田村麻悠子/堀奈央子/小泉隼

寺門大輝/田沢和之/齋藤圭介/長谷川広/小堆沙織/黒羽佑希/武石惇伎/市毛尚希/美山力哉/石井湧真

【退職者】(3月31日付)

山田行雄(企画部長) / 宮田俊三(産業部長) / 小林正博(建設部長) / 檜山英夫(教育部長) / 小田倉正美(保健福祉部次長兼社会福祉課長) / 倉持和彦(産業部次長兼農政課長) / 柏村泉(会計管理者兼会計課長) / 小林幸夫(総務部瓜連支所長) / 肥田朋子(保健福祉部介護長寿課副参事兼課長補佐(総括)) / 大内勝美(上下水道部下水道課主任企画員兼課長補佐(総括)) / 助川俊子(保健福祉部こども課子育て支援センター長) / 平沢和子(総務部瓜連支所課長補佐) / 中山友子(保健福祉部健康推進課課長補佐) / 中井川要一(教育部学校教育課学校給食センター課長補佐) / 山崎裕子(教育部生涯学習課中央公民館副館長) / 柳田隆則(上下水道部水道課技査) / 根本榮(消防長) / 萩野谷孝(消防本部次長兼警防課長) / 海老沢幸男(消防本部参事兼予防課長) / 笹島茂(西消防署長) / 檜山寿夫(教育部学校教育課主任企画員兼課長補佐(総括)) / 成田節男(教育委員会生涯学習課副参事兼課長補佐(総括)) / 小田内佐智子(保健福祉部健康推進課課長補佐)

元気なまちをめざして



3月19日、芳野農産工房で、元気ナカむらづくり塾報告会を開催しました。「元気ナカむらづくり事業」は、「活力があり賑わいのあるまちづくり」の実現をめざして、農業生産者と住民から選出された塾生40人を対象に塾を開催し、ワークショップや研修会を行うことで、塾生が地域資源を活かした持続できるむらづくりを学び、農業農村のリーダーとして活躍できるように育成することを目指した事業です。

一丸となって上位進出



2月2日から3月2日まで県内各地で開催された、第34回中村杯争奪少年サッカー大会で、那珂FCレッドがベスト6に入賞しました。那珂FCレッドは、1次・2次リーグの5試合でわずか1失点という堅い守備を見せて、上位6チームが出場する3次リーグまで勝ち上がりました。

また、大曾根秀都さん（写真右）と小林竜太さん（写真左・ともに菅谷小5年）が大会優秀選手に選出されました。

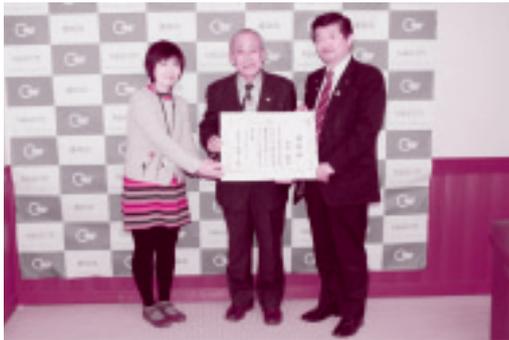
「那珂環境市民会議」設立



3月11日、新しく発足する「なか環境市民会議」の設立発起人代表である勝井明憲さん（津田）をはじめとする8人のかたがたが、会議の立ち上げに関して、海野市長へ報告を行いました。

「なか環境市民会議」は、那珂市の環境問題に取り組む、市民・事業者・団体のパートナーシップに基づき、協働の環境にやさしい魅力あるまちづくりを進める市民主体の新しい組織です。

日頃からのパトロールに表彰



3月12日、金子巖さん（静）が、茨城県不法投棄防止功労者表彰を受賞しました。

金子さんは、平成15年から茨城県ボランティアUD（不法投棄）監視員を務めており、産業廃棄物の不法投棄を防止するため、日常生活をとおして監視パトロールを行い、市内の環境保全に貢献されています。受賞おめでとうございました。市内では、金子さんの他に4人のかたが監視員として活動しています。

★事件・事故の発生状況★

(平成26年2月末)

○那珂市の交通事故

| | |
|--------|-----|
| 人身交通事故 | 56件 |
| 負傷者 | 72人 |
| 死者 | 0人 |

※暗くなる前から、反射材を身につけましょう！

○那珂市の犯罪

| | |
|---------|-----|
| 刑法犯認知件数 | 85件 |
| うち 空き巣 | 17件 |
| 自動車盗 | 6件 |
| 自転車盗 | 10件 |

※空き巣が多発！些細なことでも警察署まで情報を！

問い合わせ／那珂警察署

☎352-0110

★火災・救急の状況★

(平成26年2月末)

○火災件数

0件 (本年累計2件)

○救急出場件数

165件 (本年累計360件)

※大切な命を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう

問い合わせ／那珂市消防本部

☎295-2111

那珂市歯科医師会が
滅菌パック・歯牙保存液を寄贈

3月3日、那珂市歯科医師会(会長小林克男さん)から、デンタルミラー滅菌のための滅菌パック200枚および歯牙保存液26本を寄贈いただきました。

寄贈いただいたものは、市内小中学校に配布し、学校検診などの際に活用させていただきます。

ご協力ありがとうございます

善意銀行へ

2月15日～3月14日(敬称略)

| | |
|---------------|---------|
| 匿名 | 9,520円 |
| 那珂ライオンズクラブ | 70,500円 |
| ぴっぴお話し会 南波 久代 | 4,360円 |
| 野木 利三郎 | 10,000円 |



那珂ライオンズクラブ中庭会長

※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています

☎229-0309

ひたちなか農業協同組合が
交通安全帽子を寄贈



3月24日、ひたちなか農業協同組合から交通安全帽子528個を寄贈いただきました。

通学する子供たちの安全のために役立ててほしいとしていただいたこの帽子は、新入学児童全員に配布されます。

＊人の動き＊

那珂市の人口(3月1日現在)

※()内は前月比

| | | |
|-----|----------|------|
| 男 | 27,518人 | (-1) |
| 女 | 28,443人 | (+6) |
| 計 | 55,961人 | (+5) |
| 世帯数 | 21,676世帯 | (+9) |

○出生 31人 (2月1日～28日)
○死亡 47人

＊国保ミニ情報＊

○那珂市国保の加入者数 15,637人
(平成26年2月末現在・

前月比23人減)

○那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 3億1,054万円

(平成26年2月・前月比217万円減)

※皆さんの日頃の健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします

＊今月の納税＊

○固定資産税・都市計画税 1期
○介護保険料(普通徴収) 1期

納期限：4月30日

■市税の納付は口座振替で

市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ／収納課収納グループ
☎298-1111 内線173・174

●市役所の電話番号
☎298-1111 (代表)

●ホームページ URL (携帯可)
http://www.city.naka.lg.jp

●メールアドレス
hisho-k@city.naka.lg.jp

●おしらせ版
市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月2回)を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心をもちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう

法律相談

日時/5月13日(火) 13:00~17:00
27日(火) 13:00~16:00

場所/市役所(本庁) 1階市民相談室

対象者/市内に住所を有するかた

相談員/弁護士

申込方法/電話または窓口で事前に予約してください。

費用/無料(相談時間1回20分)

その他/同じ事案について再度の相談はご遠慮ください。

申し込み・問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

心配ごと相談

日時/5月7日(水)、14日(水)、
21日(水)、28日(水)
9:00~15:00

場所/

総合保健福祉センター「ひだまり」相談室
問い合わせ/

那珂市社会福祉協議会(瓜連支所隣分庁舎内)

☎229-0309

行政相談を開設します

日時/5月9日(金)
13:00~16:00

場所/市役所(本庁) 1階ロビー

開設相談/国の行政機関などが行っている仕事についての苦情や意見・要望

相談員/行政相談委員

問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

ごみの出し方について

家庭から出される燃えるごみは、美観・清潔の維持および迅速な収集を行うために、一度に出せる量を少量に限らせていただいています。

ごみ排出量の目安/指定袋5個まで

ごみ排出時間/収集当日の朝8時まで
指定袋の出し方/

必ず氏名をフルネームで記入してください。

問い合わせ/

環境課環境グループ

☎298-1111 内線447~449

5月の休日当番医

3日 岡田クリニック (後台)
☎270-8188

4日 たに内科クリニック (古徳)
☎229-0721

5日 諸岡医院 (瓜連)
☎296-1123

6日 那珂クリニック (中台)
☎295-9800

11日 瓜連慶友整形外科 (古徳)
☎296-1116

18日 なかむら内科・泌尿器科クリニック (飯田)
☎353-2310

25日 埴内科消化器科 (後台)
☎295-2110

■診療時間/9:00~11:30

※受診の際、必ず当該医療機関へ電話で問い合わせください

※診療時間外は、「茨城県救急医療情報コントロールセンター」(☎241-4199)、または「那珂市消防本部」(☎295-2111)へお問い合わせください





職員への期待

今春、市役所から25人の職員が退職しました。彼らは全体の奉仕者として、高品質の行政サービスを提供するため努力して参りました。特に、3年前の大震災の復旧と復興には寝食を忘れ、また労を惜しまず、市民の為に奔走し、私を支えてくれました。

当然の職責とは言え、一生懸命に働いてくれた姿に、頭の下がる思いをしました。当時を思い起こせば、庁舎の通路に倒れこむように仮眠する彼らの姿が、今でもまぶたの裏に浮かびます。心からご苦労様を申し上げたいと思います。彼らのうち16人は再任用制度により引き続き2年間奉職いたします。豊かな経験で、後進者の育成に尽力して頂きたいと思えます。

また、新規採用では、消防本部5人を含めて総勢23人の職員が、行政サービスの新たな戦力として入庁して来ました。彼らは約30

0人の応募者の中から選抜された、頭脳明晰・気力充実の優秀な人材です。自己研鑽に努め、市民の為に力を尽くせる職員になって欲しいと願っております。

さらに、来年は20人が定年退職を迎えますが、新規採用も予定しております。様々な資格をお持ちのかたの応募を期待しております。是非とも、那珂市最大のサービス産業である市役所を受験して下さい。お待ちしております。

市役所の中を見てもみると、最近、職員が自己研鑽に努めるなど、やる気を出しております。昨年は30代の職員が一級建築士の資格を取得しました。20代の職員がその後を追っており、数年内に2人目の合格者が出るかと期待しております。また、40代の職員は、大学院社会人枠の修士課程に合格し、土曜日曜の研究生活が始まります。組織は人で良し悪しが決まります。最近の傾向を嬉しく思うこの頃です。

那珂市長 海野 徹



Cook



ヘルスメイトさんが作る健康料理 103
フレッシュトマトとチキンのテリユ風

今月のヘルスメイトさん

那珂市食生活改善推進員
連絡協議会

小河原恵子さん
額田南郷(高齢食部会)

■コメント

前日に作り置きができ、お手軽なおもてなしに重宝します。牛乳パック利用により脂分が抜け、そのまま捨てられ手間が省けます。生のトマトが手に入らない場合は、トマト缶で代用できますが、調味料は控えて使ってください。

■1人分 251kcal/塩分1.1g

■作り方 【テリユ】

- ①トマトは湯むきをしてフードプロセッサーにかけ、ざるにあけて水分と果肉に分ける。
- ②トマトの果肉は電子レンジに1～2分かけて水分をとばし、50gを取り出しておく。
- ③トマトの水分と②で余ったトマトはソースに使用する。
- ④鶏肉はひと口大、ベビーチーズは細かくさいの目に切る。
- ⑤材料A・Bを個体から液体の順序でフードプロセッサーにかける。
- ⑥⑤をボウルに入れ、Cを加え、牛乳パックを利用した容器(底に穴をあけておく)に流し込み、上から下へ勢いよく落として空気を抜く。
- ⑦容器にラップをかけ、電子レンジで5～6分加熱する。※皿の上に割り箸2本置き、その上に牛乳パックをおいてレンジを使用する。(余分な脂が抜ける)
- ⑧あら熱を取って容器から出して冷蔵庫に入れ、食べる時に切る。

【フレッシュマトソース】

- ①にんにくはすりおろし、玉ねぎはみじん切りにしておく。
- ②鍋にオリーブ油、にんにく、玉ねぎを入れてから火にかける。
- ③弱火でグツグツしている間に残ったトマトと調味料を鍋に入れる。
- ④焦げないように強火でソースの固さになるまで煮込む。

【付け合せ】

- ①トマトは薄くスライスし、バルサミコ酢とオリーブ油を合わせたマリネ液につけておく。
- ②皿に①のトマトを敷き、その上にテリユをのせ、フレッシュマトソースを流しかける。
- ③イタリアンパセリを上へ飾る。

■材料(4人分)

【テリユ】

- | | |
|---|-----------------|
| A | 鶏むね肉(皮なし)……200g |
| | 大葉……………5枚 |
| | トマト……………500g |
| | 生クリーム……………50cc |
| B | 卵……………50g |
| | カレー粉……………1g |
| | 塩……………1.5g |
| | コショウ、ナツメグ…各適量 |
| C | 枝豆(冷凍)……………8g |
| | コーン(缶詰)……………8g |
| | ベビーチーズ……………30g |
| | 生パン粉……………大さじ1 |

【フレッシュマトソース】

- | | |
|--------------------|-----------|
| トマト(テリユを作る際に残ったもの) | ……………100g |
| オリーブ油 | ……………2g |
| にんにく | ……………4g |
| 玉ねぎ(中玉) | ……………100g |
| コンソメ | ……………0.8g |
| 塩 | ……………1.6g |
| オレガノ、バジル | …各適量 |

【付け合せ】

- | | |
|----------|-----------|
| トマト(中玉) | ……………200g |
| イタリアンパセリ | ……………適量 |
| バルサミコ酢 | ……………2g |
| オリーブ油 | ……………2g |



【川柳】 第9回那珂市文化祭川柳コーナー
訪問者の投句優秀作品 那珂川柳会選

課題 「写真五七五」

がんばって高くのぼって楽しいな
楽しいな上へ上へと一歩づつ
子どもはねそとで元気に遊ぶのよ
より高く身軽な子等が足場取る
初老でも登りたいけど足腰が
どこ吹けばトが出るミが出る音がでる
元気な子なに見えるかのぞき穴
がんばるよこれから先も友達だ
竹垣で何を覗くか子ども達
何見える子供の背中に問う私
ブルブルと腕の筋肉歌いだす
高いところ上がればえらい気分だわ
子らの背に羽化の兆しが見え隠れ

入 沢 美恵子
遠 藤 実
きくろ 文 花
木 村 悦 子
久保田 悦 子
根 本 きよみ
山 崎 映 子
結 柴 英 子
綿 引 京 子
友子会員
美寿々会員
美代子会員

【短歌】 白鳥短歌会

野も山も春の装い始めたりたんばば色の風に誘われ
青苔の生えたる石をけとばして枯れ葉に光る霜を踏みしむ
積極的無常観もて生きんとする老いの胸吹く風のパープル
さくさくと雪かき分けて冬菜採りくれたる夫の双手冷たし
あかあかと魔の手やみの手かねの手のはは子に伸びる福島の今
窓際の椅子にのどけき春の陽を浴びる燻のマフラー真赤
いつもなら今頃出ると探しおる酒の肴にふきのとう求め
吹く風に抗い飛び交う黄の蝶の菜花畑の外にはいはず
しんしんと身めぐり冷えて夕つ方春よぶ雨の雪となりゆく
再会を契りて固く手を握るワインレッドの空につつまれ

大 森 勝 代
小 堆 弘 子
草 野 豊
中 崎 美 登 利
仲 沢 照 美
大 森 満
海 野 宏 幸
赤 塚 満 夫
池 田 美 代 子
加 藤 要

戸籍のまどでは、新生児と亡くなられた方の氏名・大字などを掲載していますが、不正使用や目的外使用防止の観点から、ホームページ上での掲載はいたしませんのでご了承ください。



昨年のなかひまわりフェスティバル

ひまわり大使 ナカマロちゃん

ひまわり大使ナカマロちゃんは、忙しいが続いています。3月16日は「上菅谷新合築駅舎竣工式典」で、JR水戸支社のイメージキャラクター「ムコナくん」とお友達になりました。3月23日は、埼玉県春日部市で「北関東3県フェア」に参加し、那珂市の魅力をたくさん紹介しました。もちろん、たくさんのかたとお友達になりました。これを読んでいただいているころは、「八重桜まつり」の時期かと思えます。皆さん遊びに来てください。

お友達が増えました



ムコナくんと記念撮影！

きょうだい仲良く元気に育ってね！

HAPPY BIRTHDAY!!



そうだい
石井創大くん

2/11
生まれ

父・宏平さん 母・かおりさん(菅谷)

これからもたくましく、
元気に育ってください！



そら
清水奏良くん

2/9
生まれ

父・一将さん 母・麗奈さん(菅谷)

これからも元気いっぱい！
笑顔をちょうだいね！



ゆうたろう
相田雄太郎くん

2/14
生まれ

父・雄介さん 母・菜留美さん(菅谷)

[12か月健診時に掲載希望者による抽選を行っています。]

はじめてのたんじょうび

— 家族からのメッセージ —

